

<集中治療室等の体制(入院)>の自己完結率について

◎この図は、「ハイケアユニット入院管理料1～2」、「特定集中治療室管理料1～5」のレセプトに基づき算出されたもの。

他の医療圏に入院した富士圏域の患者に対して上記レセプトが計上されている割合が高いこと(富士圏域の病院での計上が少ないと高くなってしまう)を表したものとなっている。

この傾向は、26年度(26.4%)だけでなく25年度(20.2%)においても同様な状況にある。

これは一つの指標であり、これをもって富士圏域の高度急性期医療が劣っていると断定することはできないと思われる。

なお、富士圏域の状況は次のとおり

病院名	ICU	NICU	CCU	NCU	その他
富士市立中央病院	6	10	0	0	
富士宮市立病院	5	6	4	0	
富士脳研病院	0	0	0	5	9(NCUに準ずる個室)
聖隷富士病院	0	0	0	0	4(準ICU)
共立蒲原総合病院	0	0	0	0	(5)(重症室・高度とは言い難い)
計	11	16	4	5	13

*平成28年度ICU等病床数調査+聞き取りによる

高度急性期となりうる病床数は、36床(11+16+4+5)あることとなる

<用語について>

ICU	一般の集中治療室
NICU	新生児の集中治療室
CCU	心臓血管(循環器)の集中治療室
NCU	脳神経外科の集中治療室

- ・上記管理料のレセプト状況を駿東田方・静岡の両圏域の主要病院(順天堂、沼津市立、県立祖総合、静岡赤十字、県立こども各病院に)確認したが、医療圏別での件数、人数、病名等の統計資料は作成していないとのこと。(29.1.19)
- ・他の医療圏の主要病院のICU等の病床数を確認した結果、熱海・伊東ではICUが4床(国際医療福祉大熱海、伊東市民の各病院)、志太榛原ではICUが8床、NICUが14床(藤枝市立、焼津市立、島田市民、榛原総合の各病院)となっている。その他、準集中治療室のHCUが熱海・伊東で14床、志太榛原で23床あるとのこと。(29.1.19)

二次医療圏別：各種医療の自己完結率

<概要>

- ・各種医療について、各二次医療圏における自己完結率を示したもの
- ・国民健康保険、後期高齢者医療制度のデータのみで構成。
- ・平成26年4月診療分から平成27年3月診療分の電子レセプト数に基づく。

<着眼点>

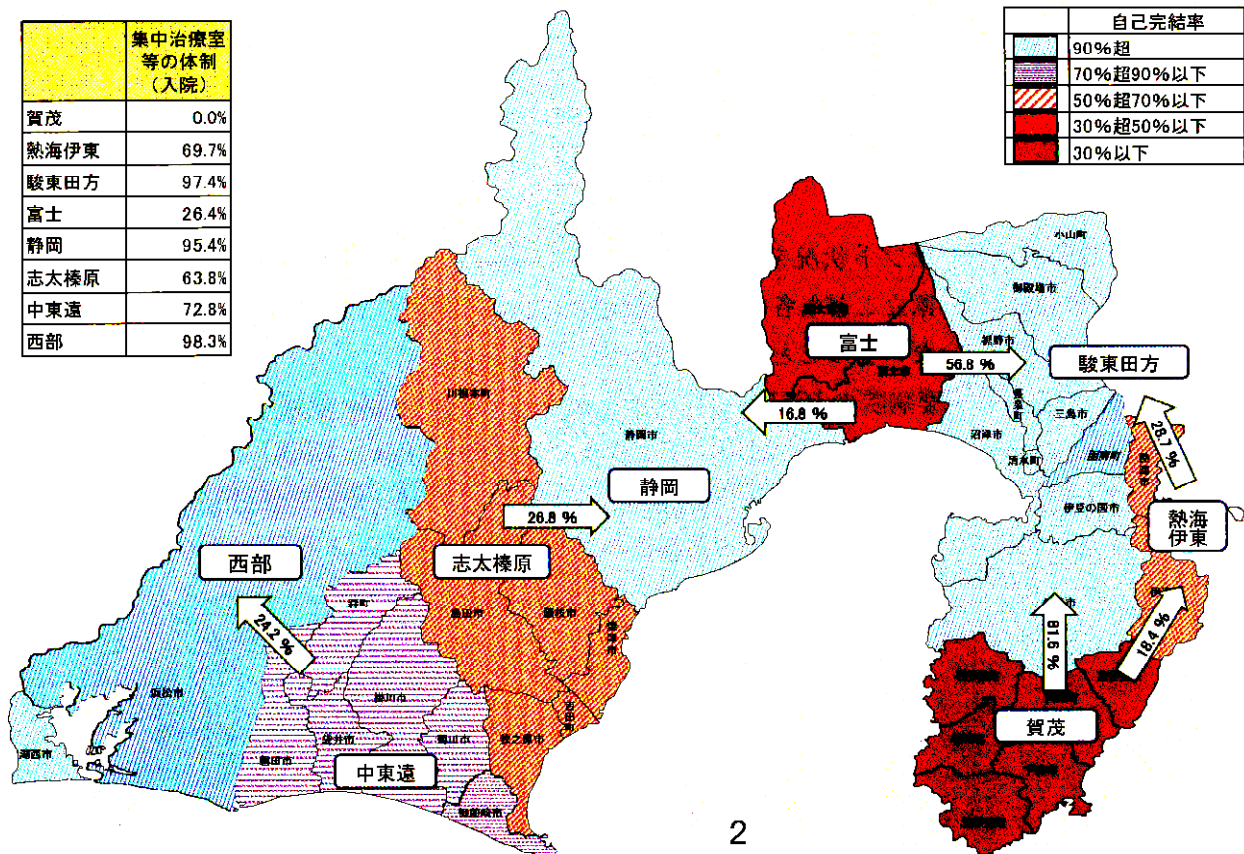
- ・各診療について、自己完結率はどうか。
- ・自己完結率が低い場合、それを高めるのか、他の医療圏と連携するのか。

※厚生労働省「医療計画作成支援データブック」より作成

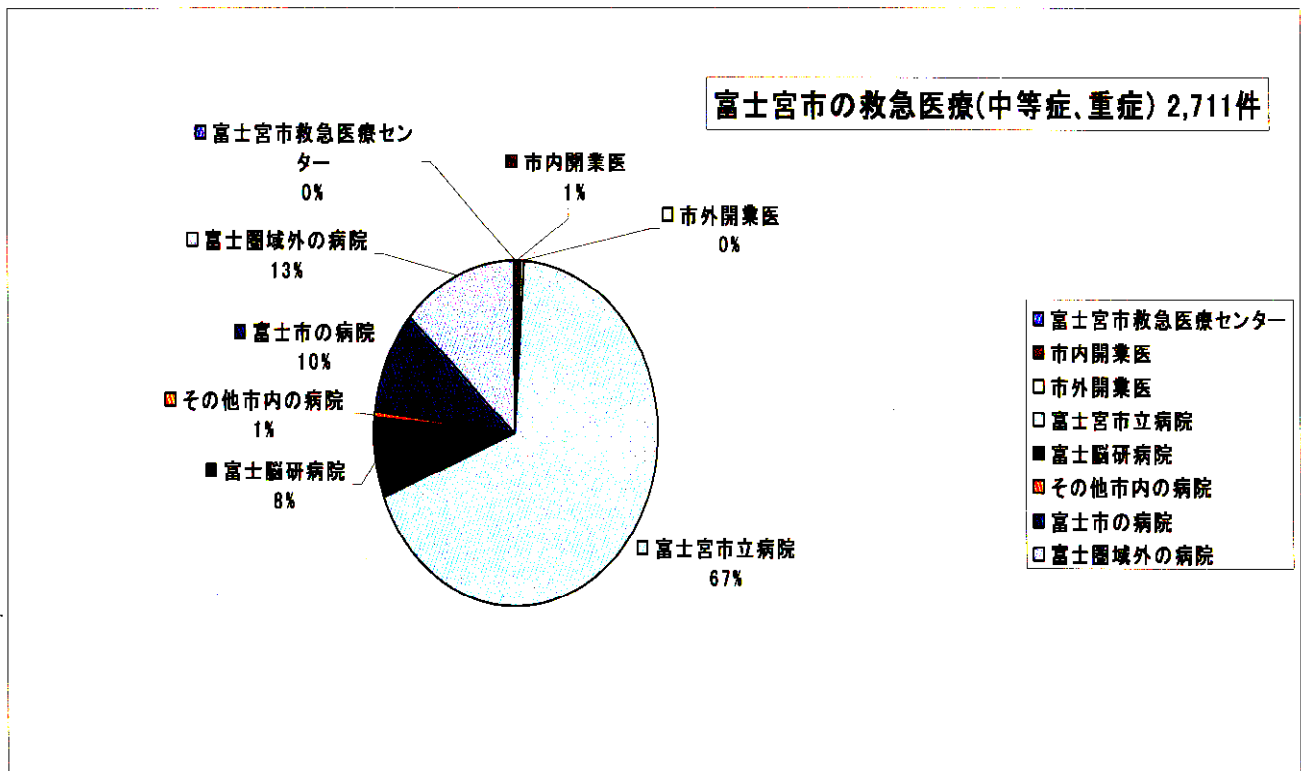
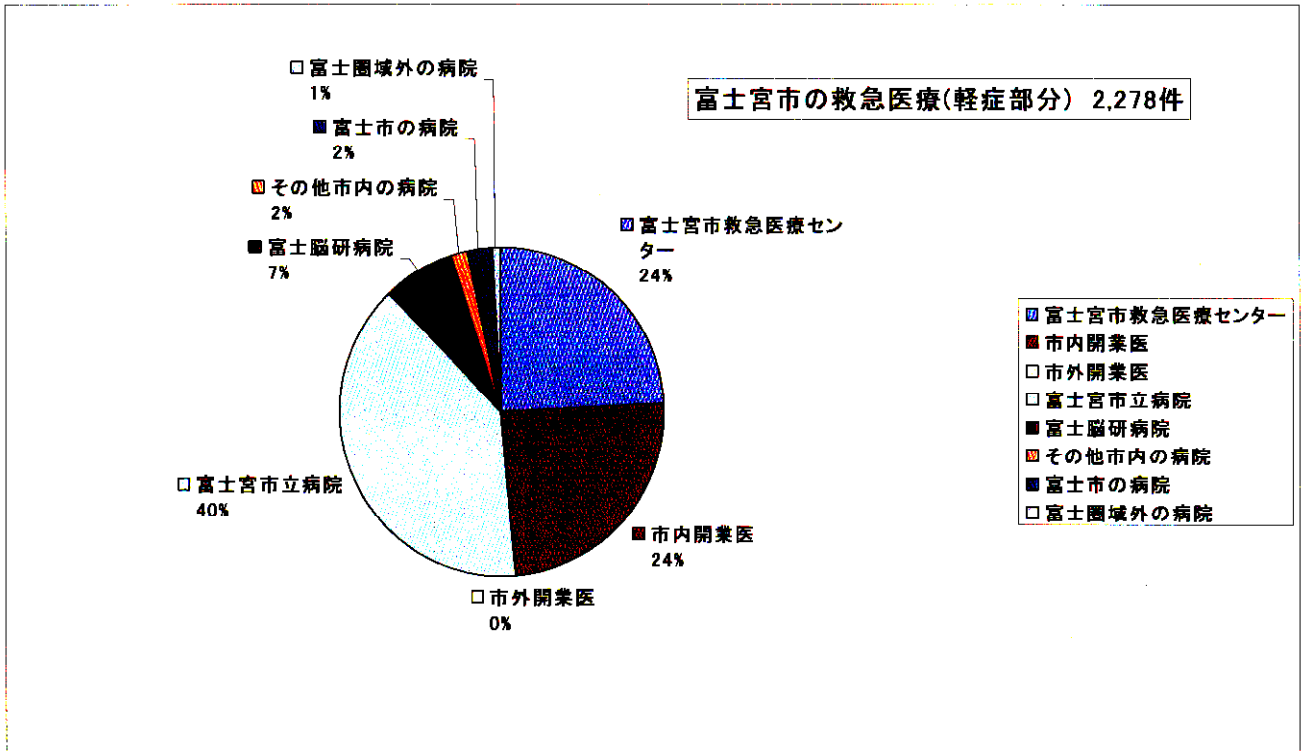
二次医療圏別：各種医療の自己完結率 <集中治療室等の体制（入院）>

二次医療圏	集中治療室等の体制（入院）
賀茂	0.0%
熱海伊東	69.7%
駿東田方	97.4%
富士	26.4%
静岡	95.4%
志太榛原	63.8%
中東遠	72.8%
西部	98.3%

自己完結率	
■	90%超
■	70%超90%以下
■	50%超70%以下
■	30%超50%以下
■	30%以下



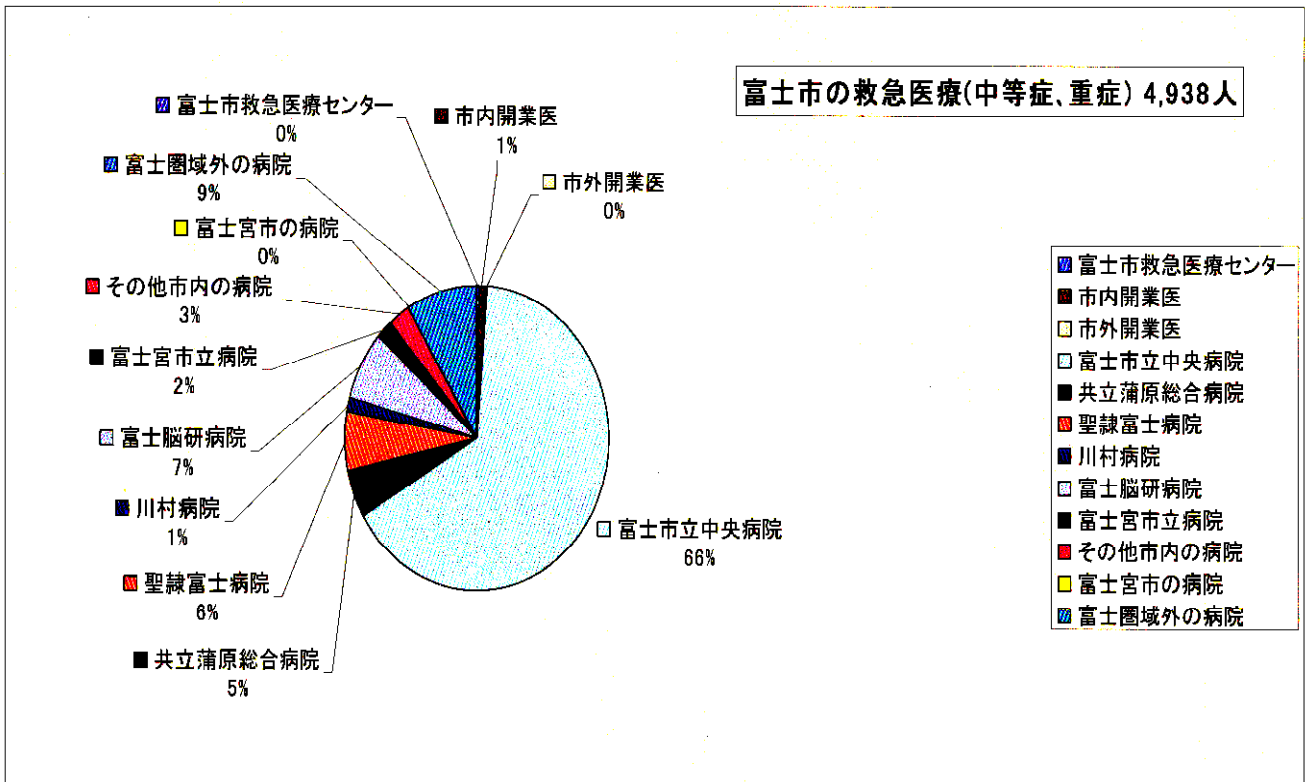
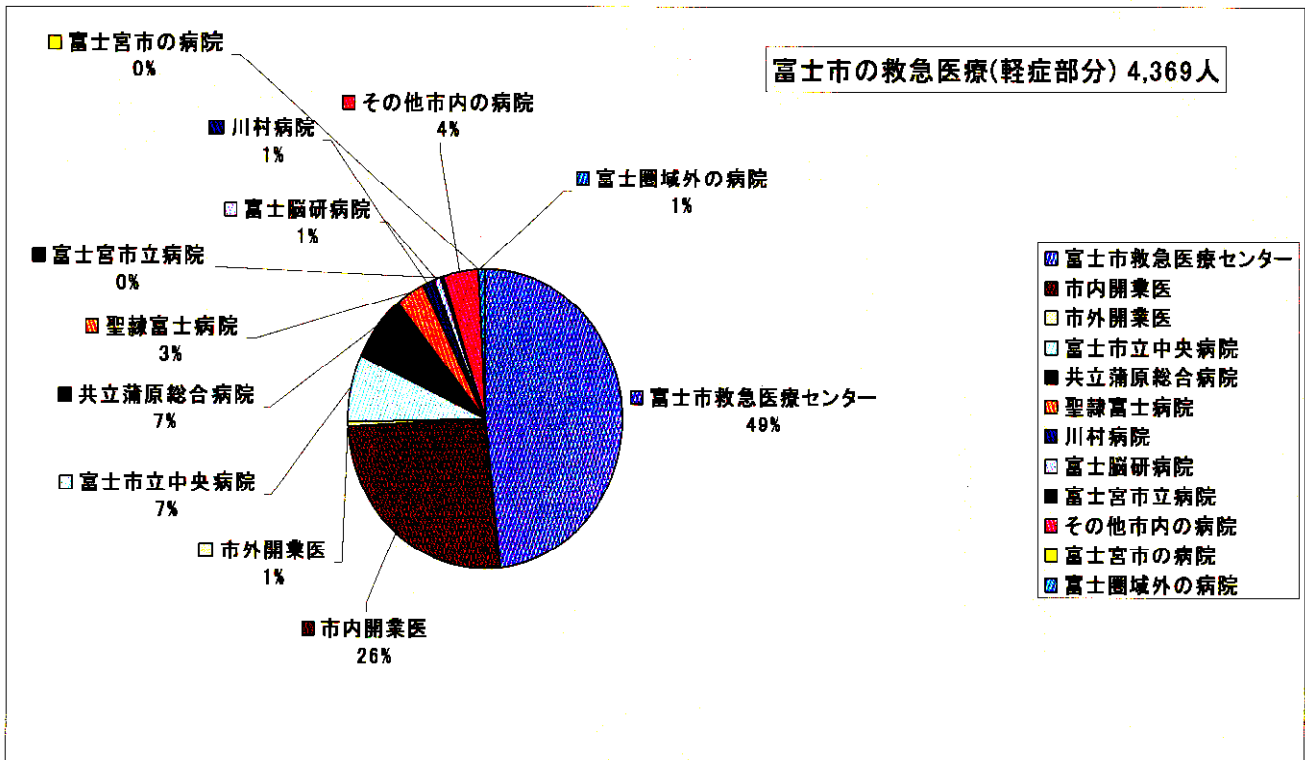
消防本部からの情報提供のまとめ(富士宮市)



軽症－入院の要なし、中等症－入院の要ありだが重症でない、重症－3週間以上の入院の要あり
 <コメント>

- ・ 全般的に富士宮市立病院にかかる負担が極めて重い状態となっている。
- ・ 中等症以上の円滑な対応のためには、軽症者についての救急医療センター、市内開業医の協力が求められる。

消防本部からの情報提供のまとめ(富士市)

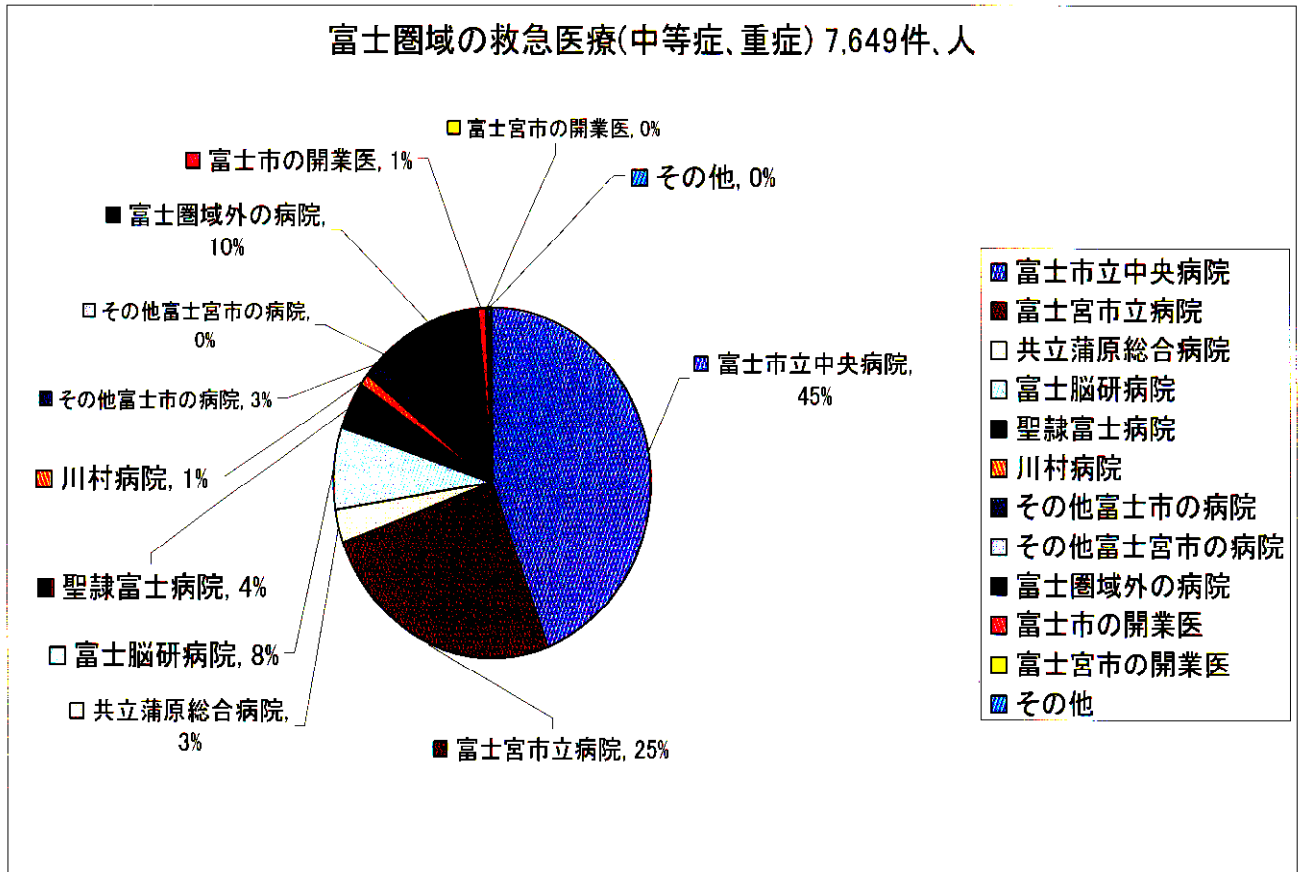


軽症－入院の要なし、中等症－入院の要ありだが重症でない、重症－3週間以上の入院の要あり

<コメント>

- ・ 中等、重症における富士市立中央病院の負担が重い状況となっている。
- ・ 中央病院が重症者の対応をスムーズに行うためには、他の救急医療機関(病院)の協力が求められる。

富士市、富士宮市各消防データを中等症、重症を合算してグラフ化したもの



中等症－入院の要ありだが重症でない、重症－3週間以上の入院の要あり

<コメント>

- ・公立3病院で73%をまかなっている。
- ・上記を含め輪番等の6病院では86%となるが、3次救急等のため10%は圏域外の病院である。

※参考

平成27年主要病院における自力での搬送(ウォークイン)の状況

病 院 名	28.12月調査		
	外来(通院)	入院(受診後)	合 計
富士市立中央病院	3,550	1,634	5,184
富士宮市立病院	1,933	1,217	3,150
共立蒲原総合病院	2,237	300	2,537
富士脳研病院	603	380	983
聖隷富士病院	496	35	531
川村病院	データなし		

<コメント>

- ・ウォークインを含め、公立3病院の救急医療での負担は大きなものとなっている。

がんの診療提供体制について

静岡県における体制は次のとおり

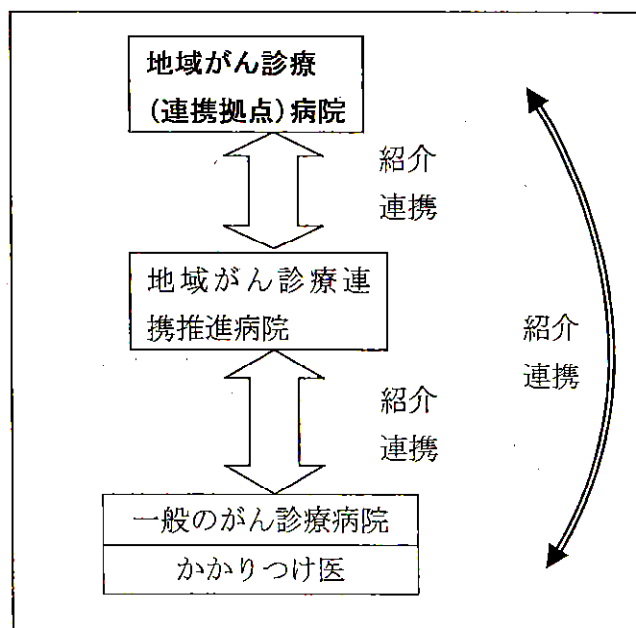
	区 分	役 割	県内の状況
国指定	都道府県がん診療連携拠点病院	・静岡県におけるがん診療の中心的な役割 ・県がん診療連携協議会の設置・開催	・県立静岡がんセンター (指定期間：27～30年度)
	地域がん診療連携拠点病院	・2次医療圏内で最上位のがん医療を提供	・9病院指定 (指定期間：27～30年度)
	地域がん診療病院	・拠点病院が空白の医療圏において、隣接圏域の拠点病院と連携し、高度ながん医療を提供	・2病院指定 (指定期間：28～31年度)
県指定	静岡県小児がん拠点病院	・静岡県における小児がんの中心的な役割	・県立こども病院
	静岡県地域がん診療連携推進病院	・2次医療圏内で拠点病院と一般病院の中間に位置し、がんの標準的な治療や緩和ケアを実施	・既指定：7病院 ・H27～沼津市立病院追加
	がん相談支援センター	・賀茂、熱海・伊東医療圏でがんに関する相談支援の拠点	・2病院指定

◎富士圏域においては

国指定の地域がん診療病院に、富士市立中央病院(連携する拠点病院は静岡がんセンター)
県指定の地域がん診療連携推進病院に、富士宮市立病院 が指定されている

*指定の条件は、診療実績(件数)、医師・看護師(緩和ケアの認定等)・薬剤師・細胞検査士の配置等で、診療科目ごとの条件はない → がん治療の種類の能力を表すものではない

◎病院、診療所の連携イメージ



※ 紹介・連携の円滑化によりそれぞれの役割分担、情報共有がなされ、患者の負担軽減を図ることが求められる

二次医療圏別：各種医療の自己完結率

<概要>

- ・各種医療について、各二次医療圏における自己完結率を示したもの
- ・国民健康保険、後期高齢者医療制度のデータのみで構成。
- ・平成26年4月診療分から平成27年3月診療分の電子レセプト数に基づく。

<着眼点>

- ・各診療について、自己完結率はどうか。
- ・自己完結率が低い場合、それを高めるのか、他の医療圏と連携するのか。

※厚生労働省「医療計画作成支援データブック」より作成

Ⅱ がん

	胃がん (入院)	大腸がん (入院)	肺がん (入院)	乳がん (入院)	化学療法 (外来)	放射線治療 (外来)
賀茂	38.5%	52.7%	22.9%	43.1%	14.5%	0.0%
熱海伊東	54.8%	59.7%	32.8%	57.7%	40.3%	0.0%
駿東田方	100.0%	98.7%	100.0%	100.0%	98.4%	100.0%
富士	64.3%	83.4%	32.9%	68.2%	48.7%	58.6%
静岡	96.9%	95.9%	96.8%	94.2%	94.2%	92.9%
志太榛原	83.1%	90.5%	76.5%	87.2%	71.1%	83.1%
中東遠	79.8%	79.4%	74.5%	65.7%	74.3%	77.6%
西部	96.9%	97.4%	100.0%	100.0%	97.8%	98.6%

※網掛けは自己完結率90%以下

在宅医療実施医療機関の一覧

28.12.15まとめ

NO	医療機関名	所在地	地域名	診療科目	備考
1	磯部クリニック	富士市川尻193	須津・浮島地区	内、胃、小、外、整、ひ、放	
2	遠藤クリニック	富士市神谷527-1	須津・浮島地区	内、小、消内、胃内	
3	高木内科循環器科医院	富士市中里934-40	須津・浮島地区	内、循	
4	秋山医院	富士市富士岡1455	原田・吉永・富士見台地区	内、外、皮、消内	
5	加藤医院	富士市比奈1613	原田・吉永・富士見台地区	内、外、眼、内泌	病床あり
6	清水内科医院	富士市比奈1296-11	原田・吉永・富士見台地区	内、アレ	
7	中根クリニック	富士市一色495-1	原田・吉永・富士見台地区	内、胃、外、皮、こう	病床あり
8	朝岡眼科医院	富士市今泉3-10-5	今泉地区	眼	病床あり
9	石原クリニック	富士市今泉2022-12	今泉地区	内、消、外	
10	川上内科医院	富士市今泉3-10-5	今泉地区	内、リハ	
11	湖山リハビリテーション病院	富士市大淵405-25	大淵・広見地区	内、リハ	病床あり
12	佐野胃腸科外科医院	富士市中野258-4	大淵・広見地区	内、消、胃、外、整、こう、放	
13	せきクリニック	富士市伝法656-1	大淵・広見地区	内、胃、外、こう	
14	広見医院	富士市大淵39-1	大淵・広見地区	内、精、小、リハ	
15	みやかわ内科・外科クリニック	富士市広見本町2-40	大淵・広見地区	内、リハ、消外	
16	ももはクリニック石坂	富士市石坂420-1	大淵・広見地区	内、整、脳神外、リハ	
17	遠藤内科医院	富士市緑町2-12	吉原・伝法地区	内、呼、循、アレ	
18	勝又医院	富士市荒田島町6-1	吉原・伝法地区	内、循、小	
19	かみで耳鼻咽喉科クリニック	富士市伝法2433-4	吉原・伝法地区	耳、気	
20	小松クリニック	富士市伝法1989-66	吉原・伝法地区	内、外、循内、消内、糖内、内泌内、脂代内、腎内、消外、乳外	
21	鈴木内科医院	富士市伝法3075-1	吉原・伝法地区	内、呼、循	
22	寺元医院	富士市浅間本町11-1	吉原・伝法地区	内、外、皮、ひ	
23	とみ皮膚科クリニック	富士市石坂68-8	吉原・伝法地区	皮、美皮	
24	中山医院	富士市浅間本町1-43	吉原・伝法地区	内、小	
25	山田医院	富士市中央町1-2-6	吉原・伝法地区	内	
26	阿部眼科医院	富士市柚木314	岩松・富士駅北一部地区	眼	
27	井出内科医院	富士市松岡1157	岩松・富士駅北一部地区	内、呼、胃、循、放	
28	海野眼科医院	富士市松岡402-16	岩松・富士駅北一部地区	眼	
29	川村病院	富士市中島327	岩松・富士駅北一部地区	内、胃、外、整、こう、麻	
30	鈴木医院	富士市松本313	岩松・富士駅北一部地区	内、胃、外、こう、リハ	
31	原内科クリニック	富士市松岡676-1	岩松・富士駅北一部地区	内	
32	宮崎クリニック	富士市松岡300-15	岩松・富士駅北一部地区	内、消、小、産婦	病床あり
33	トータルファミリーケア北西医院	富士市本市場148-1	富士駅北地区	内、心内、小、整、皮、婦	
34	久保田内科クリニック	富士市五味島276-2	富士駅北地区	内、小、胃内	
35	佐野医院	富士市蓼原865-1	富士駅北地区	内、小	
36	田辺整形外科医院	富士市本市場町1002	富士駅北地区	整形、リハ	
37	花崎眼科医院	富士市青葉町38	富士駅北地区	眼	病床あり
38	ふじの町クリニック・健診センター	富士市富士町12-12	富士駅北地区	内、神内、脳神外、婦、リハ、漢内	
39	宮下医院	富士市平垣本町4-1	富士駅北地区	内、胃、外、皮、こう、麻	病床あり
40	山城メディカルクリニック	富士市松本51-13	富士駅北地区	内、外、胃内、大腸・肛外	
41	安どうクリニック	富士市五貫島69	富士南・田子地区	内、外、放、消内、肛外	
42	池辺クリニック	富士市川成新町250	富士南・田子地区	内、神内、リハ	病床あり
43	岳南医院	富士市横割4-2-17	富士南・田子地区	内、胃、小、放	
44	竹澤胃腸科外科医院	富士市宮島28-27	富士南・田子地区	胃、外、皮、こう、放、麻	
45	ゼネラルクリニック長橋内科	富士市宮島342-2	富士南・田子地区	内、胃、アレ、小、皮、眼、リハ	
46	横割皮ふ科クリニック	富士市横割3-10-8	富士南・田子地区	皮	
47	渡辺整形クリニック	富士市川成島665-1	富士南・田子地区	内、整、リハ	病床あり
48	するがホームクリニック	富士市依田橋町11-9	元吉原地区	内	
49	天間クリニック	富士市天間69-1	鷹岡・天間丘地区	内、呼、消、循、アレ、小	
50	平野医院	富士市厚原64	鷹岡・天間丘地区	内、外、循内、消外	
51	富士いきいき病院	富士市天間1640-1	鷹岡・天間丘地区	内、神内、整、リハ、消内、循内	
52	望月医院	富士市厚原755-4	鷹岡・天間丘地区	内、循、小	
53	金指医院	富士市中之郷814-6	富士川・松野地区	内、外、放、麻	
54	秀村外科内科医院	富士市北松野1328-6	富士川・松野地区	内、外	

* 出典は、富士市医師会ホームページ、診療科目と備考は県医療政策課ホームページで公開の診療所名簿による

※在宅医療を実施していても公表していない医療機関もあります(医師会では把握)

<富士市医師会ホームページ>

富士市内にある医療機関にて、在宅医療を行っている施設を紹介いたします。

1～16の医療名詳細につきましては、「[詳細検索](#)」ボタンをクリックしてください。

地域名	医療機関名	1 往診	2 訪問 診療	3 人工 呼吸 管理	4 点滴 点滴	5 気切 気置	6 経管 栄養	7 胃瘻 胃瘻	8 気管 カニューレ	9 中心静 脈 栄養	10 酸素 酸素	11 膀胱 カテーテ ル	12 褥瘡 褥瘡	13 一般的 補綴	14,15 ターミナルケア 麻酔あり 麻酔あり	16 協力可能 な医療機 関
須賀・津島	草妻クリニック	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高橋クリニック	○	○				○	○			○				○	
	高木内山崎等科医務	○	○		○						○				○	
原田・吉永・富士見台	比山医務	○	○								○				○	○
	船越医務	○													○	○

往診可能な医療機関の一覧

29.1.25まとめ

NO	医療機関名	所在地	診療科目	備考
1	青木クリニック	富士宮市内房3215-5	内科・呼吸器科	
2	朝霧高原診療所	富士宮市猪之頭1772-2	内科・小児科・皮膚科・漢方内科	
3	池田クリニック	富士宮市下条148-1	内科・消化器科(胃腸科)	
4	浦野内科クリニック	富士宮市中原町218	内科・消化器科(胃腸科)	
5	岡村医院	富士宮市淀平町369-1	内科・消化器科(胃腸科)	状況により
6	加藤脳神経外科	富士宮市三園平668-2	脳神経外科・外科・内科	
7	桜田医院	富士宮市大久保14-1	内科・小児科・麻酔科	
8	佐野医院	富士宮市小泉2186-5	内科・小児科・胃腸科	
9	佐野記念クリニック	富士宮市宮町13-30	内科・神経科(神経内科)・呼吸器科・消化器科(胃腸科)・循環器科・外科・整形外科・肛門科・リハビリテーション科	
10	佐野内科クリニック	富士宮市田中町185-6	内科・呼吸器科・消化器科・小児科・リウマチ科	
11	関医院	富士宮市万野原新田3107-1	外科・消化器科(胃腸科)・内科	
12	東静岡脳神経センター	富士宮市西小泉町14-9	内科・神経科(神経内科)・リハビリテーション科	特別な場合
13	永松医院	富士宮市東町26-8	内科・小児科・心療内科・精神科	
14	南陽堂内科循環器科クリニック	富士宮市穂波町12-8	内科・循環器科	
15	ヒロ・クリニック	富士宮市万野原新田3923-2	内科	
16	富士宮中央クリニック	富士宮市宮原88-6	内科・外科・循環器外科・循環器内科・リハビリテーション科・消化器外科・消化器内科	
17	安田医院	富士宮市小泉423-3	内科・小児科	水曜かかりつけ患者のみ
18	山口医院	富士宮市黒田215-9	内科・皮膚科・泌尿器科(人工透析)	
19	渡辺クリニック	富士宮市三園平488-2	内科・泌尿器科	
20	富士心身リハビリテーション附属病院	富士宮市星山1129	精神科・神経科・心療内科・内科	
21	フジヤマ病院	富士宮市原683-1	外科・内科・消化器科(胃腸科)・整形外科・リハビリテーション科	
22	米山クリニック	富士宮市中原町145	耳鼻咽喉科・めまい・難聴外来・精神神経科・心療内科	状況に応じて
23	阿南胃腸科外科	富士宮市小泉2145-7	消化器科(胃腸科)・外科	
24	市川胃腸科皮膚科医院	富士宮市光町13-12	消化器科(胃腸科)・皮膚科	
25	北山医院	富士宮市北山2695-2	消化器科(胃腸科)・外科	
26	後藤外科医院	富士宮市東町9-1	胃腸科・外科・整形外科・皮膚科・肛門科	
27	指出泌尿器科	富士宮市朝日町9-5	泌尿器科(人工透析)	
28	片桐整形外科	富士宮市西町26-9	整形外科・リハビリテーション科	
29	天神眼科医院	富士宮市若の宮町335	眼科	

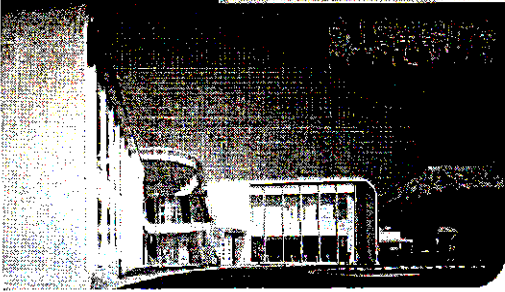
* 出典は、富士宮市医師会ホームページによる

<富士宮市医師会ホームページ>

富士宮市医師会 | Fujinomiya Medical Association

一般社団法人 富士宮市医師会

富士宮市医師会の紹介
 富士宮市医師会医療施設
 医療施設所在地MAP
 休日・夜間救急医療
 特定保健診察がん検診等実施施設
 予防接種
 人間ドック・脳ドック
 感染症サーベイランス報告
 研究会・学術講演会



Information

2016年1月20日
 ・富士宮市感染症サーベイランス報告
 (週報:第43週)と(週報:第49週)と
 (週報:第50週)と(週報:第51週)を追加しました。

2017年1月6日
 ・戸田眼科医療の施設情報を更新しました。

2016年12月6日
 ・富士宮市感染症サーベイランス報告
 (週報:第49週)と(週報:第41週)と
 (週報:第42週)と(週報:第43週)と
 (週報:第45週)と(週報:第46週)と
 (週報:第47週)と(月報:10月)と
 (週報:第48週)と(週報:第49週)と

Links

- 日本医師会
- 静岡県医師会
- 厚生労働省
- 富士宮市役所
- 年末年始における医療機関の休診日

富士宮市医師会 | Fujinomiya Medical Association

一般社団法人 富士宮市医師会

富士宮市医師会医療施設

富士宮市医師会の紹介
 富士宮市医師会医療施設
 医療施設所在地MAP
 休日・夜間救急医療
 特定保健診察がん検診等実施施設
 予防接種
 人間ドック・脳ドック
 感染症サーベイランス報告
 研究会・学術講演会

内科

医療機関名	住所	電話番号
青木クリニック	富士宮市内房3215-5	65-3615
朝霧岡原診療所	富士宮市緒之頭1772-2	52-1111
あしぞ医院	富士宮市弓沢町133	25-7595
池田クリニック	富士宮市下桑148-1	59-5558
浦野内科クリニック	富士宮市中原町218	23-3011
おいかろクリニック	富士宮市小泉1975-19	21-1200
大宮望月クリニック	富士宮市大宮町18-22	25-5333
岡村医院	富士宮市波平町389-1	26-8648
加藤脳神経外科	富士宮市三國平688-2	26-6380
北川内科医院	富士宮市光明10-15	26-5853
林田医院	富士宮市大久保14-1	65-0071
性風内科医院	富士宮市羽黒583	65-0095
さとろクリニック	富士宮市中央町12-3	29-1188
佐野医院	富士宮市小泉2186-5	26-8450
佐野記念クリニック	富士宮市宮町13-30	27-1151
佐野内科クリニック	富士宮市田中町185-6	25-0922
シモタクリニック	富士宮市前田町137-5	21-2500
関野院	富士宮市万野原新田8107-1	25-1000
竹川医院	富士宮市上井出106	54-0092
田中医院	富士宮市鈴ヶ木町711-2	22-6105

一般社団法人 富士宮市医師会 Fujinomiya Medical Association

富士宮市医師会医療施設

青木クリニック

診療所、病院 : 青木クリニック
 所在地 : 〒419-0817 富士宮市内房3215-5
 電話 : ☎44-02-3815
 FAX : ☎44-02-3816
 病床 : 無
 往診 : 可
 遠隔介 : 可
 診療科目(標準科目) : 内科、呼吸器科
 診療科目(主な科目) : 呼吸器、東洋医学
 診療時間 : 午前 8時30分～12時00分
 午後 2時30分～6時00分

診療日		月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	○	x
午後	○	○	○	x	○	x	x	x

備考 : 土曜日の予約制
 可能な在宅診療及び手技 : 在宅酸素、経管栄養
 可能な検査、設備 : 一般血液、尿、レントゲン、心電図
 市町村委託によるがん検診・予防接種 : 特定検診 予防接種 できる範囲で可

来院案内 :
 地図 : 旧芝川町南部
 各種指定医 : 生活保護、特定疾患

一つ前のページへ戻る

Copyright (C) 1999-2015 Fujinomiya Medical Association. All rights reserved.

一般社団法人 富士宮市医師会 Fujinomiya Medical Association

富士宮市医師会医療施設所在地MAP

旧芝川町南部

主な駅/ターミナル、コンビニ、郵便局、ガソリンスタンド、銀行、洋食、和食、酒、大卒校

一つ前のページへ戻る

在宅療養支援歯科診療所登録機関の一覧

県庁医療政策課より提供(28.11.1現在) 29.1.20まとめ

NO	医療機関名	所在地	備考
1	加藤歯科医院	富士市御幸町13-6	富士市歯科医師会
2	宮本歯科	富士市富士町14-3	富士市歯科医師会
3	元町歯科医院	富士市元町12-27	富士市歯科医師会
4	後藤歯科医院	富士市吉原4-9-13	富士市歯科医師会
5	志田歯科医院	富士市松岡1359-2	富士市歯科医師会
6	斉藤歯科医院	富士市一色210-1	富士市歯科医師会
7	太田歯科医院	富士市加島町4-1	富士市歯科医師会
8	大内歯科医院	富士市横割1-5-7	富士市歯科医師会
9	渡井デンタルクリニック	富士市五貫島78-2	富士市歯科医師会
10	飯田歯科医院	富士市本市場718	富士市歯科医師会
11	尾崎歯科医院	富士市北松野1837-5	富士市歯科医師会
12	片岡歯科医院	富士市今泉2059-20	富士市歯科医師会
13	片岡歯科医院	富士市高嶺町10-3	富士市歯科医師会
14	望月歯科医院	富士市岩淵970-2	富士市歯科医師会
15	木村歯科医院	富士市中野616-2	富士市歯科医師会
16	和田歯科クリニック	富士市平垣本町6-41	富士市歯科医師会
17	ビタミン歯科	富士市伝法3087-2	
18	富士高輪歯科	富士市横割1-17-30	
	富士市 計	18カ所	
1	高木歯科医院	富士宮市中央町13-4	富士宮市歯科医師会
2	サトウ歯科	富士宮市野中990-9	富士宮市歯科医師会
3	窪田歯科医院	富士宮市万野原新田2906-13	富士宮市歯科医師会
4	桑原歯科医院	富士宮市宮原385-1	富士宮市歯科医師会
5	内山歯科医院	富士宮市宮町8-12	富士宮市歯科医師会
6	野中歯科クリニック	富士宮市野中910-1	富士宮市歯科医師会
	富士宮市 計	6カ所	

* 登録はせずに訪問歯科診療を行っている診療所もあり、それは歯科医師会で把握している

在宅訪問可能薬局の一覧

県庁医療政策課、富士宮市薬剤師会より提供(28.7.27現在) 29.1.31まとめ

NO	医療機関名	所在地	備考
1	アイセイ薬局 富士錦町店	富士市錦町1-5-26	富士市薬剤師会
2	このみ薬局 富士店	富士市松富町52-5	富士市薬剤師会
3	ハロー薬局 富士店	富士市伝法1989-85	富士市薬剤師会
4	メイプル薬局 横割店	富士市横割4-2-19	富士市薬剤師会
5	メイプル薬局 五貫島店	富士市五貫島69 D号室	富士市薬剤師会
6	メイプル薬局 松本店	富士市松本51-18	富士市薬剤師会
7	メイプル薬局 石坂店	富士市石坂279-1 101号	富士市薬剤師会
8	メイプル薬局 富士駅南店	富士市横割1-20-31	富士市薬剤師会
9	メイプル薬局 富士見台入口店	富士市三ツ沢247-3	富士市薬剤師会
10	稲垣薬局	富士市鷹岡本町7-17	富士市薬剤師会
11	慧光薬局	富士市広見東本町13-7	富士市薬剤師会
12	小島薬局 アツハラ店	富士市厚原588-1	富士市薬剤師会
13	福聚薬局	富士市高島町99	富士市薬剤師会
14	宝珠薬局	富士市中野258-20	富士市薬剤師会
	富士市 計	14カ所	
1	メイプル薬局	富士宮市若の宮町377	富士宮市薬剤師会
2	メイプル薬局 中央店	富士宮市中央町12-2	富士宮市薬剤師会
3	メイプル薬局 田中店	富士宮市田中町184-4	富士宮市薬剤師会
4	わか葉薬局 芝川店	富士宮市大久保13-1	富士宮市薬剤師会
5	わか葉薬局 淀平店	富士宮市淀平町378	富士宮市薬剤師会
6	わか葉薬局 三園平店	富士宮市三園平668-1	富士宮市薬剤師会
7	ABC薬局 富士宮店	富士宮市杉田3-3	富士宮市薬剤師会
	富士宮市 計	7カ所	

* 上記以外にも訪問を行っている薬局はあるが、すべては把握できていない

訪問看護事業所の一覧

介護サービス情報公表システムより 28.12.15まとめ

NO	事業所名	所在地	職員の状況	サービス提供地	備考
1	訪問看護ステーションあい	富士市中丸882-1	看護師 常勤8 非常勤2	富士市	
2	訪問看護ステーションかえで	富士市伝法2525-1	看護師 常勤3 非常勤1	富士市、富士宮市	
3	訪問看護ステーション都富	富士市入山瀬376-11	看護師 常勤3	富士市、富士宮市	
4	訪問看護ステーションよるこび宮島	富士市宮島85-10	看護師 常勤2 非常勤7	富士市	
5	介護保険センターぱーむ	富士市錦町1-4-23	看護師 常勤4 非常勤3	富士市、富士宮市	
6	訪問看護ステーションふじ	富士市天間1840-1	看護師 常勤4 非常勤2	富士市、富士宮市	
7	富士市立中央病院	富士市高島町50	看護師 常勤3	富士市	
8	訪問看護ステーションかもめ	富士市川成新町250	看護師 常勤8 非常勤2	富士市	
9	共立蒲原総合病院訪問看護ステーション	富士市中之郷2500-1	看護師 常勤8 非常勤2	富士市、富士宮市、静岡市蒲原・由比地区	
10	訪問看護ステーション喜	富士市大淵3901-1	看護師 常勤4	富士市、富士宮市(旧富士川町・芝川町は除く)	
11	訪問看護ステーションケアメール	富士市中島327	看護師 常勤4 非常勤2	富士市	
12	訪問看護ステーション百葉	富士市大淵405-25	看護師 常勤4 非常勤3	富士市、富士宮市(旧富士川町は除く)	
13	訪問看護ステーションかみや	富士市神谷592-3	看護師 常勤5 非常勤3	富士市、沼津市西部	
14	駿河台訪問看護ステーション	富士市今泉2022-13	看護師 常勤3	富士市	
15	訪問看護ステーションけいあい	富士市南町1-32	看護師 常勤10 非常勤2	富士市	
16	訪問看護ステーションしおん	富士市久沢2-8-39	看護師 常勤1 非常勤3	富士市、富士宮市	
		富士市 計16カ所			
1	富士宮市立病院	富士宮市錦町3-1	看護師 常勤3	富士宮市	対象は病院の患者
2	訪問看護ステーション サンセイ	富士宮市源道寺町841-1	看護師 常勤5	富士宮市、富士市天間地域	
3	東静訪問看護ステーション	富士宮市西小泉町14-9	看護師 常勤4	富士宮市、富士市	
4	(有)ケア・くんだ	富士宮市万野原新田3322-21	看護師 常勤1 非常勤2	富士宮市	
5	訪問看護ステーションひより	富士宮市山宮2052-1	看護師 常勤6 非常勤4	富士宮市、富士市	
		富士宮市 計5カ所			

種別	名称	住所	定員	運営法人	施設内診療所	左記の派遣機関	協力医療機関
特別養護老人ホーム(県)	天間荘	富士市天間1602	80	社会福祉法人信愛会	○	鹿岡病院	—
富士市→	富士楽寿園	富士市大淵4632-1	56	社会福祉法人誠信会	○	湖山リハビリ病院	—
(11カ所、776人)	鑑石園	富士市原田1350-16	50	社会福祉法人鑑石園	○	富士岡秋山医院	—
	すどの社	富士市増川510-1	50	社会福祉法人美芳会	○	磯部クリニック	—
	岩本園	富士市岩本1184-1	70	社会福祉法人岳陽会	○	川村病院	—
	加島の郷	富士市水戸島本町7-8	90	社会福祉法人真澄会	○	櫻村胃腸科外科	—
	みぎわ園	富士市今泉2210	60	社会福祉法人芙蓉会	○	青葉クリニック	—
	ヴィラージュ富士	富士市厚原359-8	80	社会福祉法人秀生会	○	新富士病院	—
	富士まかど	富士市間門226番1	80	社会福祉法人鑑石園	○	富士岡秋山医院	—
	月のあかり	富士市大淵847番地4	80	社会福祉法人湖成会	○	ももはクリニック石坂	—
	シャローム富士川	富士市北松野1071番地	80	社会福祉法人富士厚生会	○	新富士病院	—
富士宮市→	富士宮荘	富士宮市上井出2029-1	70	社会福祉法人富士厚生会	○	新富士病院	—
(6カ所、490人)	高原荘	富士宮市貫戸103番地の2	80	社会福祉法人岳南厚生会	○	新富士病院	—
	しらいと	静岡県富士宮市上井出1285-1	110	社会福祉法人天竜厚生会	○	関医院	—
	星の郷	富士宮市星山字向原1058	100	社会福祉法人富士宮福祉会	○	安田内科医院	—
	楓の丘	静岡県富士宮市羽野2505番地の1	100	社会福祉法人湖成会	○	後藤外科医院	—
	百恵の郷	静岡県富士宮市大鹿窪143-1	30	社会福祉法人湖成会	○	池田クリニック	—
特別養護老人ホーム(市)	丘ホーム	富士市厚原672-1	20	社会福祉法人信愛会	—	—	安どうクリニック
富士市→	なかざと	富士市中里2593-5	29	社会福祉法人富士厚生会	○	新富士病院	—
(7カ所、186人)	かたくら明和園	富士市大淵2710-1	29	社会福祉法人誠信会	—	—	湖山リハビリ病院
	松野の里	富士市南松野2604-1	29	社会福祉法人富士厚生会	○	新富士病院	—
	あおば	富士市五味島285-1	30	社会福祉法人岳陽会	○	山城メディカルクリニック	—
	風の社	富士市原田2030番地の1	29	社会福祉法人美芳会	—	—	磯部クリニック
	みぎわ園	富士市今泉2210	20	社会福祉法人芙蓉会	○	青葉クリニック	—
富士宮市→	外神陽光園	富士宮市外神1638番地の1	29	社会福祉法人珀寿会	○	田中医院	—
(4カ所、106人)	にしき	富士宮市錦町1番10号	29	社会福祉法人錦心会	○	渡辺クリニック	—
	かりんの家	富士宮市大岩493番地の1	28	社会福祉法人恩心会	○	朝霧高原診療所	—
	百恵の郷	富士宮市大鹿窪143番地1	20	社会福祉法人湖成会	○	池田クリニック	—
介護老人保健施設	ヒューマンライフ富士	富士市大淵字大峯3901-1	195	医療法人社団喜生会	—	—	新富士病院(隣接)
富士市→	ききょうの郷	富士市五貫島175番地	100	医療法人財団百葉の会	—	—	湖山リハビリ病院
(7カ所、779人)	ひろみ	富士市大淵39番地の1	90	医療法人社団広見会	—	—	広見医院(隣接)
	かぐや富士	富士市中里2546番地7	90	医療法人社団静寿会	—	—	富士市立中央病院
	新富士ケアセンター	富士市大淵字大峯3898番1	104	医療法人社団喜生会	—	—	新富士病院(隣接)
	富士中央ケアセンター	富士市厚原372番地1	100	社会福祉法人秀生会	—	—	新富士病院
	芙蓉の丘	富士市中之郷2500番地の1	100	共立蒲原総合病院組合	—	—	共立蒲原総合病院(隣接)
富士宮市→	リハビリケア	富士宮市原682	72	医療法人社団富士恵仁会	—	—	フジヤマ病院(隣接)
(5カ所、481人)	富士ケアセンター	富士宮市星山1129	100	一般財団法人富士心身リハビリテーション研究所	—	—	富士心身リハビリテーション研究所附属病院(隣接)
	みゆきの苑	富士宮市宮原337番地の4	109	医療法人社団仁信会	—	—	後藤外科医院
	いかる野	富士宮市原709番地	100	医療法人社団富士恵仁会	—	—	フジヤマ病院(隣接)
	旭ヶ丘	富士宮市山宮字ニツ山1027番2	100	医療法人社団静寿会	—	—	新富士病院
認知症対応型共同生活介護	グループホーム菜の花	富士市一色185	6	特定非営利活動法人ケアウイング	—	—	渡辺内科医院ほか
富士市→	グループホームさくら草	富士市五貫島61-2	6	特定非営利活動法人ケアウイング	—	—	木村内科医院
(28カ所、773人)	グループホームひので	富士市伝法560番地	9	医療法人社団道仁会	—	—	富士第一クリニックほか
	グループホームおとなりさん	富士市五貫島160-1	9	医療法人財団百葉の会	—	—	湖山リハビリ病院
	グループホームわたしの家	富士市大淵352-2	18	医療法人財団百葉の会	—	—	湖山リハビリ病院
	グループホームみなみ風	富士市伝法1773-1	9	有限会社みなみ風	—	—	鈴木内科医院
	グループホームたみの里一日乃出町	富士市日乃出町81	18	特定非営利活動法人シンセア	—	—	久保田内科クリニック
	グループホーム陽気	富士市伝法657-1	9	有限会社百原介護センター	—	—	新富士病院

種 別	名 称	住 所	定員	運 営 法 人	施設内診療所	左記の派遣機関	協力医療機関
	グループホームまぼろば	富士市天間955番34	9	特定非営利活動法人ハッピーネット富士	—	—	富士いきいき病院
	グループホーム快明堂	富士市中央町1-10-12	9	株式会社快明堂	—	—	久保田内科クリニック
	グループホーム2人3脚	富士市境499-1	9	愛心援助サービス株式会社	—	—	高木内科循環器科医院
	グループホーム風	富士市神戸738番地の6	9	有限会社アダム	—	—	青葉クリニック
	松岡グループホーム	富士市松岡1231-1	9	特定非営利活動法人ファインケア	—	—	木村内科医院
	グループホームきらら富士	富士市一色258-47	9	社会福祉法人県民厚生会	—	—	青葉クリニック
	ニチイケアセンター富士水戸島	富士市水戸島343-4	9	株式会社ニチイ学館	—	—	宮下医院ほか
	グループホーム花ごもも	富士市岩本232-2	9	医療法人財団百葉の会	—	—	鈴木医院
	グループホームあいの街富士川	富士市岩瀬131-1	9	株式会社アイケア	—	—	みやかわ内外科クリニック
	富士南グループホーム	富士市鮫島436-1	9	特定非営利活動法人ファインケア	—	—	木村内科医院
	グループホームももの花	富士市三ツ沢427-1	9	医療法人社団弘仁会 中根クリニック	—	—	中根クリニック
	グループホームゆかり	富士市今宮544-1	9	企業組合つどい	—	—	中根クリニック
	グループホーム イー・ケア中里	富士市中里172番地の7	9	株式会社イー・ケア	—	—	ふじの町クリニック
	多機能ホーム橙	富士市中丸390-1	9	社会福祉法人湖成会	—	—	鈴木医院
	小規模多機能型ホーム富士の里	富士市天間1627番地の1	9	社会福祉法人博美会	—	—	富士いきいき病院
	多機能ホーム萌木	富士市石坂78-3	9	社会福祉法人湖成会	—	—	宮川内外科クリニック
	グループホームかりんの花	富士市松本134-1	9	医療法人社団弘仁会 中根クリニック	—	—	川村病院
	ひなのグループホーム	富士市比奈993-1	9	特定非営利活動法人ファインケア	—	—	木村内科医院
	アクタガワハートフルホーム厚原	富士市厚原179番1号	9	株式会社アクタガワ	—	—	駿河ホームクリニック
	オアシス中之郷	富士市中之郷3152-1	18	株式会社オアシス	—	—	宮澤内科医院
富士宮市→	グループホームゆずの家1号館	富士宮市大岩493番地の13	18	有限会社ハートフルケア	—	—	富士いきいき病院ほか
(12カ所、231人)	グループホーム「いっしょに暮らそう」	富士宮市杉田1020-2	9	有限会社アイエヌビー	—	—	阿南胃腸科外科医院ほか
	グループホームほほえみ	富士宮市中大里1164-1	9	有限会社エーティ	—	—	朝霧高原診療所
	グループホーム百葉二の宮	富士宮市北町14-5	9	医療法人財団百葉の会	—	—	湖山リハビリ病院ほか
	グループホーム「いこいの家」	富士宮市万野原新田3163番地の1	9	有限会社サンセイ	—	—	関医院
	愛の家グループホーム富士宮	富士宮市佐折840	27	メディカル・ケア・サービス株式会社	—	—	北川内科医院
	グループホームあかね	富士宮市小泉2302-7	18	株式会社アルテディア	—	—	湖山リハビリ病院ほか
	グループホームひまわり	富士宮市野中1076番地の4	9	株式会社ひまわり	—	—	朝霧高原診療所
	グループホームたかはら	富士宮市小泉1625番地の25	9	社会福祉法人 岳南厚生会	—	—	新富士病院
	グループホームいこいの家 北山	富士宮市北山4777-1	9	有限会社 サンセイ	—	—	浦野内科医院
	グループホームいこいの家源道寺	富士宮市源道寺町841-1	9	有限会社サンセイ	—	—	永松医院
	グループホームあった家	富士宮市大鹿窪151番地1	15	社会福祉法人湖成会	—	—	池田クリニック
特定施設入居者生活 介護(県)	ツクイ・サンシャイン富士	富士市錦町1-3-22	100	株式会社 ツクイ	—	—	
富士市→	ニチイケアセンター 富士厚原	富士市厚原626-2	51	株式会社ニチイ学館	—	—	
(7カ所、480人)	ベストライフ富士	富士市水戸島元町4-16	49	株式会社 ベストライフ	—	—	
	ウェルビーイング富士	富士市厚原1192番地の1	60	株式会社ウェルビーイング	—	—	
	メディカルケアハウス リライフ富士	富士市石坂420番地1	50	医療法人財団百葉の会	—	—	
	ウェルビーイング富士三ツ倉	富士市大淵2447番地の1	80	株式会社ウェルビーイング	—	—	
	養護老人ホーム するが荘	富士市原田2030-32	90	社会福祉法人美芳会	○	富士いきいき病院	
富士宮市→	アシステッドリビング アミュー富士宮	富士宮市小泉309-1	50	株式会社メッセージ	—	—	
(4カ所、108人)	ケアハウスにしき	富士宮市錦町1番10号	10	社会福祉法人錦心会	—	—	
	有料老人ホームわかみや	富士宮市小泉2302-8	12	株式会社アルテディア	—	—	
	介護付有料老人ホーム ふるーら泉	富士宮市泉町626番地3	36	株式会社アース	—	—	
特定施設入居者生活 介護(市)	ケアハウス慈恩	富士市五味島285番地-1	28	社会福祉法人岳陽会	—	—	久保田内科
富士市→ (2カ所、48人)	ケアハウスわたの里	富士市今泉1丁目11-7	20	社会福祉法人慈照会	—	—	富士岡崎山医院
富士宮市→ (1カ所、20人)	フォーユー若の宮	富士宮市若の宮町412	20	株式会社 フォーユー	—	—	新富士病院

介護保険外の居住系施設等の一覧

福祉指導課ホームページ＋有料老人ホーム検索サイト・各施設のホームページ

種別	名称	住所	定員	運営法人	併設事業所	協力医療機関、医療援助
有料老人ホーム(住宅型)	フローレンス新富士	富士市宮島993-1	56	株式会社イー・ケア	訪問介護	ふじの町クリニック健診センター
富士→	サニーライフ富士	富士市日乃出町123番地の1	81	株式会社川島コーポレーション	訪問介護	するがホームクリニック
(12カ所、418人)	富士桜ハウス	富士市厚原1204-1	12	有限会社ケアサービス富士桜	訪問介護、通所介護	小松クリニック
	オアシス富士	富士市久沢247-1	50	株式会社オアシス	なし	ふじの町クリニック、野中歯科クリニック
	アイクラシエ富士川成新町	富士市川成新町393-1	49	株式会社グランテック	訪問介護	オカニューロケアクリニック
	エリシオン富士	富士市本市場町800	50	株式会社SANG	訪問介護	富士整形外科病院
	バリアフリー住宅岳陽	富士市伝法657-1	9	有限会社吉原介護センター	訪問介護、通所介護	なし(各自のかかりつけ医)
	グレイス富士	富士市森下7-1	39	株式会社グレイス富士	訪問介護	するがホームクリニック、渡井デンタルクリニック
	ケアーよろこび年輪	富士市久沢86-18	12	株式会社ケアーよろこび	認知症通所介護	なし(各自のかかりつけ医)
	クローバーガーデン松野	富士市南松野1889-1	12	不二軽窓販売株式会社	通所介護	なし(各自のかかりつけ医)
	アクタガワ ハートフルホーム厚原	富士市厚原179-1	17	株式会社アクタガワ	なし	するがホームクリニック、大村歯科医院ほか
	でんぼうの丘	富士市伝法759-1	31	有限会社吉原介護センター	なし	大塚クリニック、富士歯科
富士宮市→	フローレンス富士の郷	富士宮市万野原新田4068-9	46	株式会社イー・ケア	訪問介護	朝霧高原診療所、野中歯科クリニック
(3カ所、105人)	クローバーガーデン富士宮	富士宮市弓沢町903	24	不二軽窓販売株式会社	なし	なし(各自のかかりつけ医)
	フクC-小泉	富士宮市小泉481-7	35	有限会社フリーウェイ	訪問介護	ヒロクリニック、和田歯科医院
サービス付高齢者住宅	ふるさとホーム富士久沢	富士市久沢1076-1	40	株式会社ヴァティー	通所介護	通院の付き添い
富士→	ふるさとホーム富士三ツ沢	富士市三ツ沢620-1	30	株式会社ヴァティー	通所介護	通院の付き添い
(10カ所、254人)	ヒューマンヒルズ新富士	富士市柳島	40	株式会社エフ・エム・シー	通所介護	通院の付き添い
	オムニバス	富士市岩本	24	株式会社ヤマセ	通所介護、居宅介護支援事業所	なし
	かぐや富士	富士市中里2546-7	46	医療法人社団静寿会	なし	なし
	クオリティリビング富士	富士市宮島85-10	20	株式会社ケアクオリティ	訪問介護、通所介護	通院の付き添い
	ハローふるさと村	富士市前田54-1	6	ハローふるさと村	なし	なし
	二人三脚	富士市境499-1	6	愛心援助サービス株式会社	小規模多機能型居宅介護	なし
	ネクストライフ森島	富士市森島511-1	32	アイジーサービス株式会社	通所介護	なし
	おおぶちの里	富士市大淵201-3	10	特定非営利活動法人おおぶち居宅支援事業所	なし	なし
富士宮市→	ふるーら泉	富士宮市泉町626-3	38	株式会社アース	通所介護	通院介助
(2カ所、63人)	あい富士宮市	富士宮市三園平1406-3	25	新日本通産株式会社	通所介護	通院の付き添い

平成28年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

I 目的

本調査は、退職の原因を含む静岡県内の訪問看護ステーションの実態を把握し、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的としています。

II 調査概要

- (1) 調査対象 静岡県内の現存する訪問看護ステーション189ヶ所（東部75ヶ所、中部55ヶ所、西部59ヶ所）
【平成26年調査時：172ヶ所（東部66ヶ所、中部49ヶ所、西部57ヶ所）】
- (2) 回答件数 188件（回収率99.5%）
- (3) 調査内容 ① 訪問看護ステーションの届出状況
② 訪問看護ステーションの実施状況
③ 看護職員の就業状況
④ 看護職員の退職状況

III 調査方法 郵送配布・回収（自記方式）

IV 調査期間 平成28年5月16日～7月15日
調査基準期間：平成28年6月1日～30日

V 調査結果

1. 訪問看護ステーションの概要

1) 設置主体

「株式会社・有限会社・合同会社」が86ヶ所（45.7%）と最も多く、前回調査時より11ヶ所増えている。その内、看護師やいはその家族が起業している事業所数は東部で15ヶ所、中部で12ヶ所、西部で2ヶ所の合計29ヶ所、「株式会社・有限会社・合同会社」全体の33.7%である。医療法人は48ヶ所（25.5%）と調査の度に増えている。

表1 設置主体別割合 (n=188)

設置主体	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
株式会社・有限会社・合同会社	86	45.7%	75	43.6%	44	32.6%	33	26.8%
医療法人	48	25.5%	44	25.6%	40	29.6%	39	31.7%
社会福祉法人	18	9.6%	15	8.7%	13	9.6%	12	9.8%
農業協同組合連合会・農協共済	9	4.8%	9	5.2%	9	6.7%	9	7.3%
社団法人・財団法人	8	4.3%	8	4.7%	7	5.2%	7	5.7%
公立	5	2.7%	6	3.5%	7	5.2%	8	6.5%
看護協会	4	2.1%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
日赤	3	1.6%	3	1.7%	3	2.2%	3	2.4%
社会福祉協議会	3	1.6%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
郡市医師会	2	1.1%	2	1.2%	2	1.5%	2	1.6%
特定非営利活動法人	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
協同組合	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
計	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が75ヶ所（39.8%）、「併設なし」は113ヶ所（60.1%）であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは16ヶ所（8.5%）、病院のみが39ヶ所（20.7%）、診療所のみが20ヶ所（10.6%）であった。

前回の調査結果と比較すると、併設する医療機関のない事業所が20ヶ所、診療所のみを併設している事業所は5ヶ所増えている。病院・診療所共に併設しているところは7ヶ所減っている。

表2 同一法人の併設医療機関の有無 (n=188)

	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)		
			数	割合	数	割合	数	割合	
併設有	病院	39	20.7%	41	23.8%	39	28.9%	44	35.8%
	診療所	20	10.6%	15	8.7%	15	11.1%	15	12.2%
	病院・診療所	16	8.5%	23	13.4%	21	15.6%	10	8.1%
併設医療機関 無	113	60.1%	93	54.1%	60	44.4%	54	43.9%	

3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業あり」は、152ヶ所（80.9%）で、前回調査より12ヶ所増え、「併設事業なし」は前回調査より4ヶ所増の36ヶ所（19.1%）であった。併設事業の内訳で最も多いのは、居宅介護支援事業で123ヶ所（80.9%）、次いで通所介護80ヶ所（52.6%）、訪問介護77ヶ所（50.7%）、通所リハ54ヶ所（35.5%）であった。

表3 同一法人併設事業の有無 (n=188)

	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
併設事業あり	152	80.9%	140	81.4%	116	85.9%	105	85.4%
併設事業なし	36	19.1%	32	18.6%	19	14.1%	18	14.6%
計	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

表3-2 併設事業の内訳 複数回答 (n=152)

事業の種類	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
居宅介護支援	123	80.9%	111	79.3%	92	79.3%	97	92.4%
訪問介護	77	50.7%	68	48.6%	60	51.7%	49	46.7%
通所介護	80	52.6%	66	47.1%	57	49.1%	49	46.7%
通所リハビリ	54	35.5%	48	34.3%	46	39.7%	43	41.0%
老人保健施設	36	23.7%	36	25.7%	37	31.9%	28	26.7%
グループホーム	32	21.1%	29	20.7%	23	19.8%	18	17.1%
短期入所療養介護	28	18.4%	28	20.0%	26	22.4%	24	22.9%
その他	27	17.8%	24	17.1%	13	11.2%	15	14.3%
訪問リハビリ (医療機関)	23	15.1%	20	14.3%	19	16.4%	13	12.4%
福祉用具貸与	22	14.5%	20	14.3%	15	12.9%	9	8.6%
短期入所生活介護	28	18.4%	20	14.3%	17	14.7%	14	13.3%
小規模多機能	23	15.1%	19	13.6%	16	13.8%	11	10.5%
特別養護老人ホーム	23	15.1%	17	12.1%	19	16.4%	15	14.3%
定期巡回・随時対応	19	12.5%	14	10.0%				
訪問入浴介護	9	5.9%	13	9.3%	19	16.4%	8	7.6%
療養通所介護	5	3.3%	6	4.3%	12	10.3%	6	5.7%
ケアハウス	8	5.3%	6	4.3%	8	6.9%	9	8.6%
看護小規模多機能 (複合型)	12	7.9%	2	1.4%	0	0.0%		
サービス付き高齢者専用住宅	14	9.2%						

4) サテライトの設置について

サテライトは既に13事業所 (6.9%) で設置され、設置数は15ヶ所であった。
サテライト設置の意向はあるが、困難と回答した事業所は33ヶ所 (17.6%) であった。
その理由として、33ヶ所全てが人材確保が困難と回答している。

表4 サテライトの設置状況 (n=188)

	数	割合
既に設置	13	6.9%
設置の意向なし	142	75.5%
設置の意向はあるが困難	33	17.6%
計	188	100%

表4-2 サテライト設置困難 (n=33) 複数回答

設置が困難・無理な理由	数	割合
人材確保が困難	28	84.9%
初期投資費用	4	2.1%
黒字化困難、利益が見込めない	4	2.1%
利用者のニーズが不明	3	1.6%

5) 山間地区への訪問について

山間地区等遠隔地への訪問は、29ヶ所 (15.4%) が実施しているが、159ヶ所 (84.6%) は実施をしていない。その理由は、「訪問の依頼がない」が159ヶ所のうち153ヶ所 (96.2%) であった。
「訪問の依頼はあるが対応できない」理由についての記載はなかった。「訪問の依頼はあるが対応できない」と回答した6ヶ所のうち1ヶ所は、交通費の助成があれば対応できるとしている。

表5 遠隔地への訪問実施状況 (n=188)

	数	割合
山間地区等への訪問を実施している	29	15.4%
山間地区等への訪問を実施していない	159	84.6%
計	188	100%

表5-2 遠隔地への訪問をしない理由 (n=159)

	数	割合
訪問の依頼がない	153	96.2%
訪問の依頼はあるが対応できない	6	3.8%
計	159	100%

表5-3 交通費の助成があればどうか (n=6)

交通費の助成あれば可	1
交通費の助成あっても不可	5

遠隔地への訪問看護を実施している事業所を地区別で見ると、東部地区は、熱海1ヶ所、伊東市は3ヶ所、西伊豆町・東伊豆・伊豆の国市・伊豆市で各1ヶ所、富士市で2ヶ所が実施している。
中部地区では、静岡市葵区で4ヶ所、藤枝市で2ヶ所、島田市で3ヶ所が実施している。
西部地区では、掛川市・磐田市・森町で各1ヶ所が実施。浜松市内では、北区で3ヶ所、浜北区で1ヶ所、天竜区で2ヶ所が実施している。

表5-4 地区別の遠隔地への訪問看護実施状況 (n=29)

【東部】		【中部】		【西部】	
住所	数	住所	数	住所	数
伊東市玖須美	2	静岡市葵区城内町	1	掛川市大池	1
伊東市岡	1	静岡市葵区福田ヶ谷	1	磐田市家田	1
伊東市八幡野	1	静岡市葵区山崎	1	周智郡森町	1
熱海市水口町	1	静岡市葵区北番町	1	浜松市北区引佐町	1
賀茂郡西伊豆町	1	藤枝市岡部	1	浜松市北区三方原町	1
賀茂郡南伊豆町	1	藤枝市瀬戸新屋	1	浜松市北区細江町	1
伊豆市柏久保	1	島田市野田	1	浜松市浜北区中瀬	1
伊豆の国市四日町	1	島田市旗指	1	浜松市天竜区渡ヶ島	1
富士市天間	1	島田市本通	1	浜松市天竜区二俣町	1
富士市大瀬	1	計	9	計	9
計	11				

6) 機能強化型について

機能強化型の要件を満たし届出をしている事業所は、8ヶ所（4.3%）である。機能強化型を目指しているが、要件を満たしていない事業所が94ヶ所（50%）で、要件を満たしていない、または届出の意向もない事業所が86ヶ所（45.7%）であった。

表6 機能強化型の届出状況 (n=188)

	数	割合
要件を満たし届出をしている	8	4.3%
要件を満たしているが届出していない	0	0%
意向はあるが、要件を満たしていない	94	50.0%
要件を満たしていない、または意向ない	86	45.7%
計	188	100%

7) 加算の届出状況

加算の届出状況は、これまでの調査同様特別管理加算が最も多く、176ヶ所（93.6%）である。定期巡回・随時対応サービス連携は25ヶ所（13.3%）で、前回調査より10ヶ所増えている。精神科訪問看護療養費は81ヶ所（43.1%）が届出をしている。機能強化型訪問看護管理療養費1は3ヶ所、機能強化型訪問看護管理療養費2は5ヶ所が届出をしている。

表7 加算の届出状況 (n=188)

届出の有無	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
加算の種類								
特別管理加算	176	93.6%	161	93.6%	126	93.3%	115	93.5%
緊急時訪問看護加算	174	92.6%	156	90.7%	121	89.6%	105	85.4%
ターミナルケア加算	172	91.5%	153	89.0%	120	88.9%	105	85.4%
24時間対応体制加算	165	87.8%	148	86.0%	113	83.7%	98	79.7%
サービス提供体制強化加算	98	52.1%	91	52.9%	88	65.2%	81	65.9%
精神科訪問看護療養費	81	43.1%	68	38.4%				
看護体制強化加算	40	21.3%						
定期巡回・随時対応サービス連携	25	13.3%	15	8.7%				
精神科複数回訪問加算	24	12.8%	25	14.5%				
精神科重症患者早期集中支援管理連携加算	10	5.3%	7	4.1%				
24時間連絡体制加算	9	4.8%	10	5.8%	27	20.0%	22	17.9%
居宅療養管理指導	7	3.7%	14	8.1%	12	8.9%	13	10.6%
機能強化型訪問看護管理療養費2	5	2.7%	6	3.5%				
機能強化型訪問看護管理療養費1	3	1.6%	3	1.7%				
専門研修を受けた 看護師	1	0.5%	0	0%				
緩和ケア 褥瘡ケア	0	0%	0	0%				

表7-2 加算の6月実績数 (n=188)

届出の有無	届出数	算定実績数
加算の種類		
特別管理加算	176	2,774
緊急時訪問看護加算	174	6,539
ターミナルケア加算	172	103
24時間対応体制加算	165	2,158
サービス提供体制強化加算	98	25,581
精神科訪問看護療養費	81	890
看護体制強化加算	40	1,799
定期巡回・随時対応サービス連携	25	161
精神科複数回訪問加算	24	5
精神科重症患者早期集中支援管理連携加算	10	2
24時間連絡体制加算	9	102
居宅療養管理指導	7	0
機能強化型訪問看護管理療養費2	5	169
機能強化型訪問看護管理療養費1	3	152
専門研修を受けた 看護師	1	1
緩和ケア 褥瘡ケア	0	0

8) 職員体制 (平成28年6月の状況)

職員区分別では、「看護職員」が1,194人(70.4%)、「リハビリ職員」が349人(20.6%)「事務職員」が130人(7.7%)であった。前回調査の常勤換算からの変化をみると、従事者総数は194.9人の増加である。看護師が最も多く133.4人の増加、次いで作業療法士が25.8人の増加であった。1事業所あたりの職種別従事者数でみると、「看護職員」の常勤換算は4.84人と、これまでの調査の中では最も多い。「リハビリ職員」は1.28人と、前回調査より若干減少している。

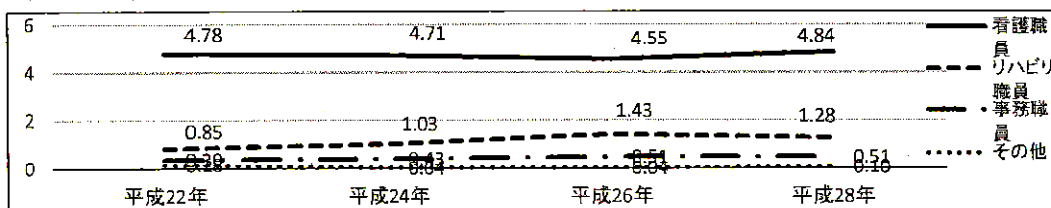
表8 職種別職員数 平成28年6月現在 (単位:人)

	従事者数				常勤換算従事者数		常勤換算従事者数					
	総数	常勤		非常勤			第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
		専従	兼務		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合		
総数	1,695	791	225	679	1267.1	100%	1072.2	100%	838.6	100%	763.7	100%
保健師	12	8	0	4	9.7	0.8%	11.2	1.0%	11.3	1.4%	7.7	1.0%
助産師	4	0	1	3	2.4	0.2%	4.1	0.4%	2.1	0.2%	2.2	0.3%
看護師	1,103	511	118	474	843.9	66.6%	710.5	66.3%	589.3	70.3%	544	71.2%
准看護師	75	33	7	35	53.7	4.2%	57	5.3%	32.9	3.9%	34	4.5%
理学療法士	229	113	54	62	158.3	12.5%	136.2	12.7%	102.6	12.2%	77.7	10.2%
作業療法士	111	56	18	37	79.8	6.3%	54	5.0%	35.1	4.2%	26	3.4%
言語療法士	9	2	3	4	4.5	0.4%	4.3	0.4%	1.8	0.2%	1.8	0.2%
事務職員	130	53	22	55	95.5	7.5%	87.9	8.2%	58.6	7.0%	48.3	6.3%
その他	22	15	2	5	19.3	1.5%	7	0.7%	4.9	0.6%	22	2.9%

表8-2 1事業所あたりの職種別従事者数 (n=188, 単位:人)

	従事者数			常勤換算従事者数	常勤換算従事者数		
	総数	常勤	非常勤		第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
				人数	人数	人数	
総数	9.02	5.41	3.61	6.74	6.53	6.21	6.20
保健師	0.06	0.04	0.02	0.05	0.07	0.08	0.06
助産師	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
看護師	5.87	3.35	2.52	4.49	4.13	4.33	4.42
准看護師	0.40	0.21	0.19	0.29	0.33	0.28	0.28
理学療法士	1.22	0.89	0.33	0.84	0.79	0.76	0.63
作業療法士	0.59	0.39	0.20	0.42	0.31	0.26	0.21
言語療法士	0.05	0.03	0.02	0.02	0.33	0.01	0.01
事務職員	0.69	0.40	0.29	0.51	0.51	0.43	0.39
その他	0.12	0.09	0.03	0.10	0.04	0.04	0.18

図1 1事業所あたりの職種別従事者割合の前回調査との比較 (n=188, 単位:人)



看護職員の常勤換算数は「3.0~3.9人」が49ヶ所(26.1%)と最も多く、次いで「~2.9人」で41ヶ所(21.8%)であった。5人未満のステーションは118ヶ所(62.8%)あり、小規模ステーションが全体の6割以上である。

表9 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=188)

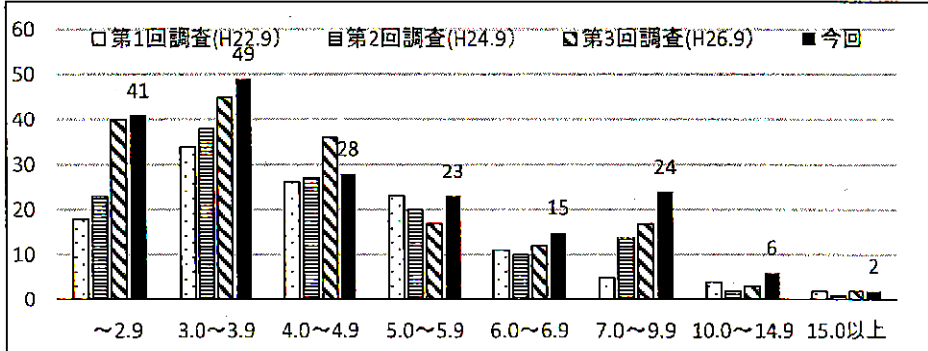
常勤換算数	今回調査	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
~2.9	41	40	23	18
3.0~3.9	49	45	38	34
4.0~4.9	28	36	27	26
5.0~5.9	23	17	20	23
6.0~6.9	15	12	10	11
7.0~9.9	24	17	14	5
10.0~14.9	6	3	2	4
15.0以上	2	2	1	2
計	188	172	135	123

平成27年6月以降に開設した、開設1年以内の事業所20ヶ所の看護職員の常勤換算数「2.9人以下」が9ヶ所(45%)、「3.0~3.9人」10ヶ所(50%)と19ヶ所(95%)が4人未満である。

表10 開設1年以内の事業所の看護職員の常勤換算数 (n=20) (平成27年6月以降新設事業所)

常勤換算数	新設事業所数
~2.9	9
3.0~3.9	10
4.0~4.9	1
計	20

図2 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=188)

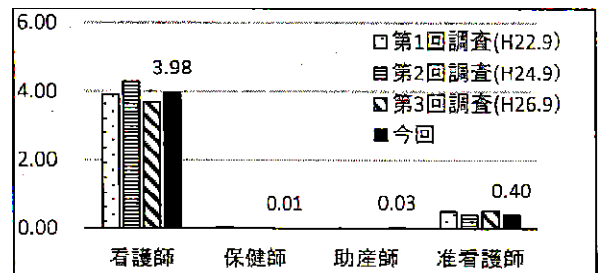


看護職の常勤換算数を地区別で見ると、すべての地区で増加している。中でも西部地区は、これまでの調査で最も多い。

表11 看護職の地区別常勤換算数

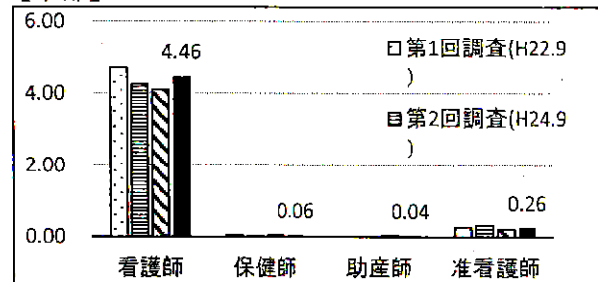
	東 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	3.98	3.69	4.29	3.92
保健師	0.01	0.02	0.01	0.06
助産師	0.03	0.02	0	0.02
准看護師	0.40	0.53	0.40	0.50
計	4.42	4.26	4.70	4.50

【東 部】



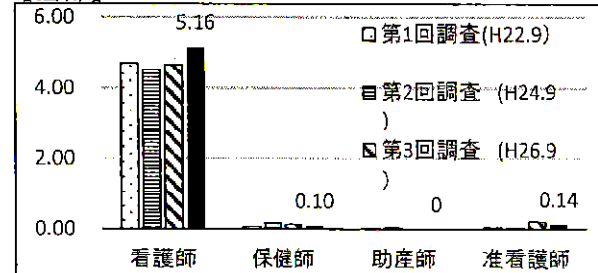
	中 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	4.46	4.11	4.25	4.71
保健師	0.06	0.06	0.04	0.06
助産師	0.04	0.05	0	0
准看護師	0.26	0.21	0.32	0.27
計	4.82	4.43	4.61	5.04

【中 部】



	西 部			
	今回	第3回 (H26.9)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	5.16	4.66	4.52	4.71
保健師	0.10	0.13	0.18	0.07
助産師	0	0	0.04	0.03
准看護師	0.14	0.21	0.04	0.05
計	5.39	5.00	4.78	4.86

【西 部】



9) 常勤換算数と利用者数

188事業所全体の常勤換算数の平均は6.74人で、うち看護職員の常勤換算数の平均は4.84人である。「利用者数100人以上」の事業所では、看護職員の常勤換算数の平均は8.05人であるのに対し、「利用者数100人未満」の事業所の看護職員の常勤換算数は4.03人である。利用者100人以上の事業所の中には、看護職員の常勤換算が2.5~3.0人と少ないところもあるが、理学療法士や作業療法士等が常勤換算で3.0人以上は在職している。

表12 利用者数別 (n=188)

利用者数	事業所数	構成割合
100人以上	38	20.2%
100人未満	150	80.8%
合計	188	100.0%

表13 全ステーションの常勤換算数の平均 (n=188)

職種	常勤換算数
保健師	0.05
助産師	0.01
看護師	4.49
准看護師	0.29
理学療法士	0.84
作業療法士	0.42
言語療法士	0.02
事務職員	0.51
その他	0.10
計	6.74

表14 利用者100人以上の事業所の常勤換算数の平均 (n=38)

職種	常勤換算数
保健師	0.07
助産師	0
看護師	7.84
准看護師	0.14
理学療法士	2.18
作業療法士	1.21
言語療法士	0.10
事務職員	1.02
その他	0.05
計	12.61

表15 利用者100人以下の事業所の常勤換算数の平均 (n=150)

職種	常勤換算数
保健師	0.05
助産師	0.02
看護師	3.64
准看護師	0.32
理学療法士	0.50
作業療法士	0.22
言語療法士	0
事務職員	0.38
その他	0.12
計	5.25

10) 専門看護師・認定看護師の在籍状況について

専門看護師はいないが、認定看護師は10名在籍していた。「訪問看護認定看護師」が最も多く6人であった。その他は「認定看護管理者」が3名、「がん性疼痛看護認定看護師」が1名であった。

表16 専門看護師・認定看護師数

資格	人数
訪問看護認定看護師	6
認定看護管理者	3
がん性疼痛看護認定看護師	1
計	10

11) 研修の受講状況について

研修には159ヶ所(84.6%)が受講している。「受講したことがない」は、18ヶ所(9.6%)である。「受講したことがない」理由は、16ヶ所が「業務多忙」、4ヶ所が「参加しやすい地域ではない」である。

表17 研修の受講状況 (n=188)

	人数	割合
受講したことがある	159	84.6%
今後受講予定	11	5.9%
受講したことがない	18	9.6%
計	188	100%

表18 受講した理由 (n=159) (複数回答)

	人数	割合
受講したい内容だった	142	89.3%
参加しやすい地域での開催	99	62.3%
情報交換できる	73	45.9%
その他	3	1.9%

表18-2 受講したことがない理由 (n=18) (複数回答)

	人数	割合
業務多忙で参加できない	16	88.9%
参加しやすい地域ではなかった	4	22.2%
研修の必要性を感じない	0	0%
受講したい内容がない	0	0%
研修を知らなかった	0	0%

図3 受講した理由 (n=159)

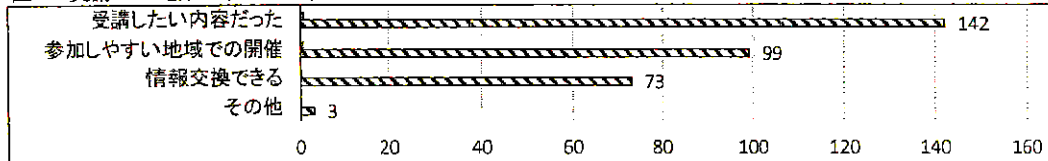
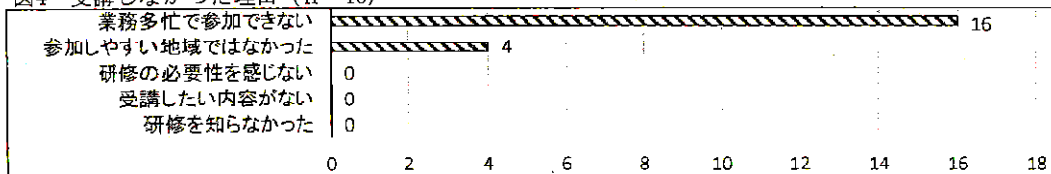


図4 受講しなかった理由 (n=18)



1 2) 看護学生の実習受け入れ状況について

看護学生の実習については、83ヶ所（44.2%）が受け入れをしている。
現在は実習を受けていないが、受ける意向があるのは64ヶ所（34.0%）である。
実習を受けていないし、受ける意向もないは、41ヶ所（21.8%）であった。

表19 実習の受け入れ状況 (n=188)

	事業所数	割合
受け入れている	83	44.2%
受けていないが受け入れの意向あり	64	34.0%
受けていない、受ける意向もない	41	21.8%
計	188	100%

1 3) 収支状況について

平成27年4月～平成28年3月までの収支状況については、対象期間以降新設された事業所を除く赤字が58ヶ所（31.7%）、黒字は92ヶ所（50.3%）、不明が33ヶ所（18.0%）であった。
今後の事業所運営は、事業拡大が53ヶ所（28.2%）、現状維持は131ヶ所（69.7%）、縮小は4ヶ所（2.1%）であった。赤字であっても14ヶ所は事業拡大を目指している。
平成27年6月～平成28年3月までに開設した事業所15ヶ所の内の13ヶ所（86.7%）は赤字である。
今後の方向性として事業縮小とした4ヶ所はいずれも赤字事業所であり、8月に1ヶ所が廃止、1ヶ所が休止している。

表20 収支状況 (n=183)

	事業所数	割合
赤字	58	31.7%
黒字	92	50.3%
不明	33	18.0%
計	183	100%

表21 今後の事業運営 (n=188)

	事業所数	割合
拡大	53	28.2%
現状維持	131	69.7%
縮小	4	2.1%
計	188	100%

表22 赤字事業所の設置後の経過年数 (n=58)

設立経過年数	事業所数	割合
1年未満	13	22.41%
1～2年未満	11	18.97%
2～3年未満	8	13.79%
3～4年未満	4	6.90%
4～5年未満	0	0%
5～10年未満	5	8.62%
10年以上	17	29.31%
計	58	100%

表23 赤字事業所の利用者数 (n=58)

利用者数	事業所数	割合
10人以下	8	13.8%
10～20人未満	8	13.8%
20～30人未満	9	15.5%
30～40人未満	5	8.6%
40～50人未満	4	6.9%
50～100人未満	22	37.9%
100人以上	2	3.5%
計	58	100%

表24 赤字事業所の看護職員の常勤換算数 (n=58)

常勤換算数	事業所数	割合
～2.9	21	36.2%
3.0～3.9	17	29.3%
4.0～4.9	9	15.5%
5.0～5.9	6	10.3%
6.0～6.9	1	1.7%
7.0～9.9	2	3.5%
10.0～14.9	2	3.5%
15.0以上	0	0%
計	58	100%

図5 収支状況 (n=183)

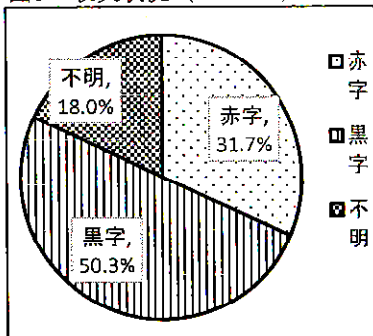


図6 今後の事業運営 (n=188)

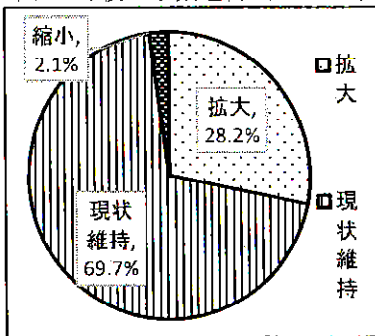


図7 赤字事業所の設置後の経過年数

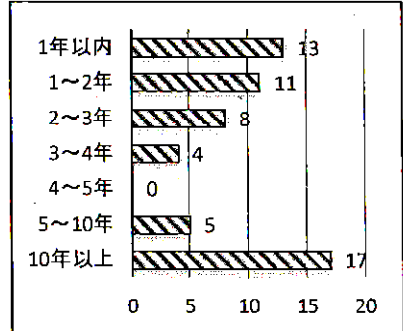


図8 赤字事業所の利用者数 (n=58)

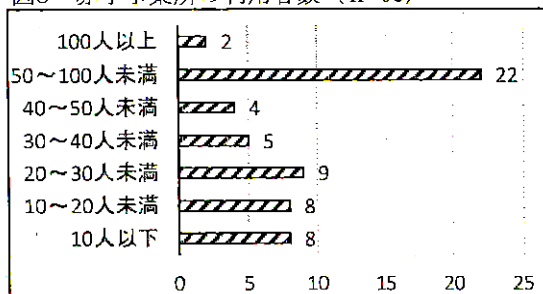
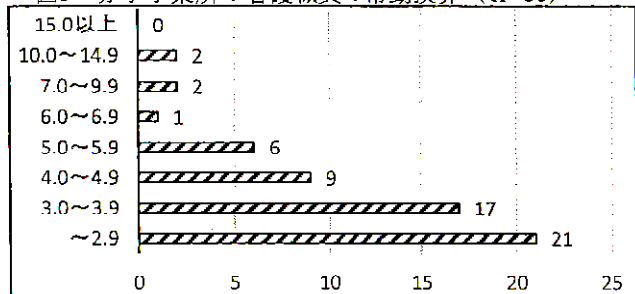


図9 赤字事業所の看護職員の常勤換算 (n=58)



2. 利用者の状況（平成28年6月1日～6月30日の1ヶ月）

1) 利用者の年齢・性別

平成28年6月の1ヶ月間の訪問看護利用者総数は、13,616人であった。前回調査より1,746人増加している。男女比率は、男性6,077人（44.6%）、女性7,539人（55.4%）前回調査とほぼ同じ割合である。年齢別では75～99歳が最も多く、訪問看護利用者全体の68%を占める。

2) 保険別の利用者数・訪問回数

保険別の利用者数は、介護保険が10,404人（76.4%）、健康保険が3,107人（22.8%）であった。保険別の利用者の割合は、前回調査とほぼ同じであった。介護保険・医療保険共に訪問回数は増加しているが、割合は前回調査時とほぼ同じであった。

表25 利用者の年齢別・性別数

	利用者総数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	131	1.6%	223	1.6%	150	1.5%	102	1.1%
16～39歳	149	2.1%	282	2.0%	172	1.7%	157	1.8%
40～64歳	816	10.9%	1,492	11.1%	1,050	10.6%	978	11.0%
65～74歳	1,195	16.3%	2,215	17.1%	1,684	16.9%	1,599	18.0%
75～99歳	3,755	67.9%	9,244	50.5%	5,148	51.8%	4,558	51.2%
100歳以上	31	1.2%	160	17.7%	1,745	17.5%	1,500	16.9%
計	6,077	100%	13,616	100%	9,949	100%	8,894	100%

表26 保険別利用者数

	利用者数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険	10,404	76.4%	9,107	76.7%	7,987	80.3%	7,206	81.0%
医療保険	3,107	22.8%	2,670	22.5%	1,879	18.9%	1,656	18.6%
その他	105	0.8%	93	0.8%	83	0.8%	32	0.4%
計	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

表27 保険別訪問回数

	訪問回数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
介護保険	63,714	73.4%	51,801	72.7%	44,054	76.5%	38,548	76.1%
医療保険	22,454	25.9%	18,849	26.5%	13,282	23.0%	11,975	23.6%
その他	591	0.7%	547	0.8%	290	0.5%	134	0.3%
計	86,759	100%	71,197	100%	57,626	100%	50,657	100%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険利用者の介護度別でみると、今回の調査では要介護1が2,067人（19.9%）と最も多く、次いで要介護2の2,064人（19.8%）であった。これまでの調査で最も多かった要介護5の利用者は、平成24年度をピークに減少している。要介護4は1,673人（16.1%）、要介護3は1,511人（14.5%）と利用者は微増である。要支援1・2の利用者は、順調に増加している。

表28 介護保険の介護度別利用者状況（人数）

	利用者数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	1,388	13.3%	1,039	11.4%	681	8.5%	552	7.8%
要介護1	2,067	19.9%	1,635	18.0%	1,213	15.2%	911	12.8%
要介護2	2,064	19.8%	1,691	18.6%	1,436	18.0%	1,176	16.5%
要介護3	1,511	14.5%	1,352	14.8%	1,260	15.8%	1,154	16.2%
要介護4	1,673	16.1%	1,595	17.5%	1,478	18.5%	1,456	20.4%
要介護5	1,701	16.4%	1,795	19.7%	1,919	24.0%	1,875	26.3%
計	10,404	100%	9,107	100%	7,987	100%	7,124	100%

図10 介護度別利用者数（過去調査との比較）

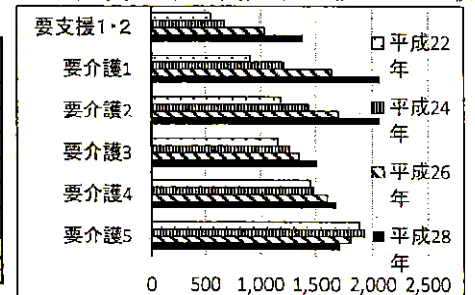
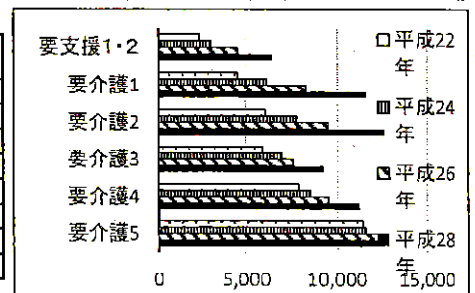


表29 介護保険の介護度別利用者状況（訪問回数）

	訪問回数		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	6,421	10.08%	4,506	8.7%	3,024	6.9%	2,340	6.2%
要介護1	11,577	18.2%	8,316	16.1%	6,123	13.9%	4,505	11.8%
要介護2	12,620	19.8%	9,521	18.4%	7,816	17.7%	6,037	15.8%
要介護3	9,284	14.6%	7,608	14.7%	6,949	15.8%	5,879	15.4%
要介護4	11,214	17.6%	9,545	18.4%	8,582	19.5%	7,931	20.8%
要介護5	12,598	19.8%	12,286	23.7%	11,560	26.2%	11,409	30.0%
計	63,714	100%	51,782	100%	44,054	100%	38,101	100%

図11 介護度別訪問回数（過去調査との比較）



4) 訪問看護指示書の発行元の内訳

平成28年6月に訪問した利用者の訪問看護指示書の発行元は、病院が5,953人(43.7%)、診療所が7,163人(52.6%)、在宅専門医が500人(3.7%)であった。

表30 訪問看護指示書発行元

	人数	割合
病院	5,953	43.7%
診療所	7,163	52.6%
在宅専門医	500	3.7%
計	13,616	100%

5) 平成28年6月、1か月間の新規利用者について

新規利用者数は、891人であった。新規利用者が0の事業所は21ヶ所(11.1%)であった。2ヶ所の事業所では、30件以上の新規利用者があった。依頼の紹介先で最も多いのが居宅介護支援事業所の500人(56.1%)であった。次いで病院からの紹介が190人(21.3%)で、診療所からの紹介は82人(9.3%)であった。利用者・家族からや他のステーションからの紹介や依頼もあった。

表31 新規利用者数 (n=188)

利用者数	事業所数	割合
0	21	11.1%
1~2	46	24.5%
3~4	38	20.2%
5~6	29	15.4%
7~8	26	13.8%
9~10	17	9.0%
11~12	6	3.2%
15~19	3	1.6%
30~32	2	1.1%
計	188	100%

表32 新規依頼の紹介先 (n=891)

	人数	割合
居宅介護支援事業所	500	56.1%
地域包括支援センター	53	5.9%
病院	190	21.3%
診療所	82	9.3%
老健・特養	2	0.2%
利用者・利用者家族	18	2.0%
他のステーション	21	2.4%
その他	25	2.8%
計	891	100%

6) 平成28年6月で終了した利用者数

調査月である平成28年6月に終了した利用者は、640人であった。

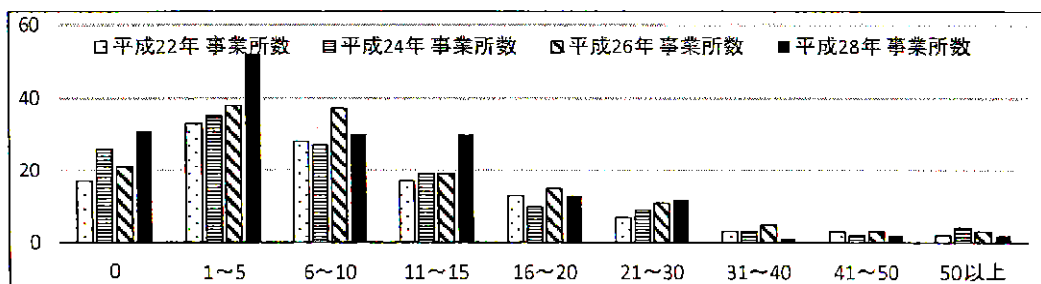
7) 在宅での看取り件数

平成27年度中の在宅での看取り件数は、1,901件であった。平成28年4月以降に新設された5ヶ所の事業所を除く183ヶ所の事業所の内、看取りを行った事業所は、152ヶ所(83.1%)である。1~5件までの看取りを行った事業所は52ヶ所と増加しているが、看取り数0の事業所も31ヶ所に増えている。

表33 看取りの件数 (n=183)

看取り数	事業所数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	31	16.9%	21	13.8%	26	19.3%	17	13.8%
1~5	52	28.4%	38	25.0%	35	25.9%	33	26.9%
6~10	30	16.4%	37	24.3%	27	20.0%	28	22.8%
11~15	30	16.4%	19	12.5%	19	14.1%	17	13.8%
16~20	13	7.1%	15	9.9%	10	7.4%	13	10.6%
21~30	12	6.6%	11	7.2%	9	6.6%	7	5.7%
31~40	11	6.0%	5	3.3%	3	2.2%	3	2.4%
41~50	2	1.1%	3	2.0%	2	1.5%	3	2.4%
50以上	2	1.1%	3	2.0%	4	3.0%	2	1.6%
計	183	100%	152	100%	135	100%	123	100%

図12 看取り件数 (過去調査との比較)



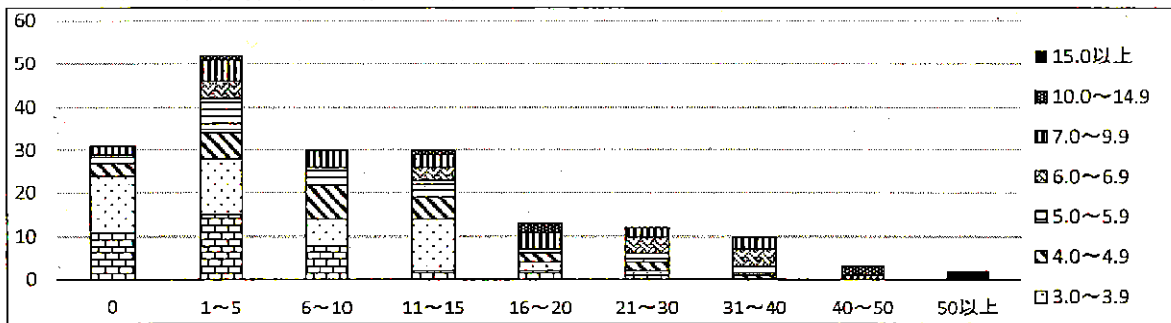
i) 事業所規模別の看取りの状況

50件以上の看取りを行っている事業所の常勤換算数は、15人以上が2ヶ所であった。
 常勤換算4.0～4.9人で30件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所、3.0～3.9人で20件以上の看取りを行っている事業所が1ヶ所ある。
 常勤換算7.0～9.9人の事業所で看取り数ゼロが2ヶ所ある。1ヶ所は精神に特化した事業所で、1ヶ所は昨年度まで24時間対応体制をとっていなかった事業所である。

表34 常勤換算別看取り数 (n=183)

常勤換算数	看取り件数 (平成27年度中)									合計
	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	40～50	50以上	
～2.9	11	15	8	2	2	1	0	0	0	39
3.0～3.9	13	13	6	12	2	1	0	0	0	47
4.0～4.9	3	6	8	5	2	2	1	0	0	27
5.0～5.9	2	8	4	4	1	2	2	0	0	23
6.0～6.9	0	4	0	3	0	4	4	0	0	15
7.0～9.9	2	5	4	3	4	2	3	1	0	24
10.0～14.9	0	1	0	1	2	0	0	2	0	6
15.0以上	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	31	52	30	30	13	12	10	3	2	183

図13 常勤換算別看取り数 (n=183)



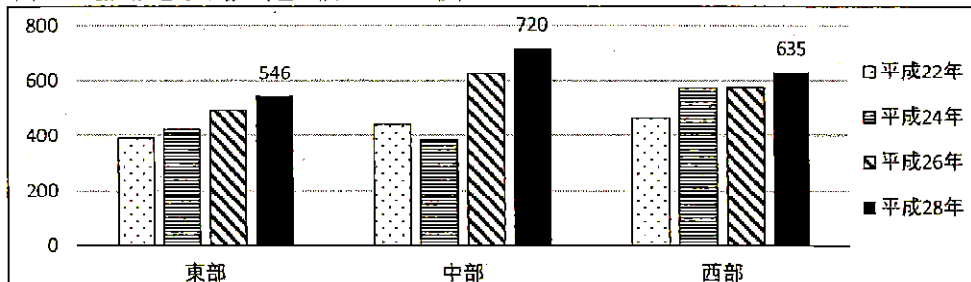
ii) 地区別の看取り状況

看取り数を地区別で見ると、東部は546件で前回調査より52件の増、西部は635件で前回より59件の増である。中部は前回より91件増の720件で、地区別では最も多かった。

表35 地区別看取り数

地区	数	割合	第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
			数	割合	数	割合	数	割合
東部	546	28.7%	494	29.1%	425	30.8%	390	30.0%
中部	720	37.9%	629	37.0%	383	27.7%	443	34.1%
西部	635	33.4%	576	33.9%	574	41.5%	466	35.9%
計	1,901	100%	1,699	100%	1,382	100%	1,299	100%

図14 地区別看取り数 (過去調査との比較)



iii) 在宅看取りの場所

平成27年度中の在宅看取りを場所別で見ると、自宅が最も多く1,815件 (95.48%) であった。グループホームで40人 (2.1%)、サービス付き高齢者専用住宅で24人 (1.26%)、有料老人ホームで22人 (1.16%) を看取っている。

表36 在宅看取りの場所別

場所	看取り数	割合
自宅	1,815	95.48%
グループホーム	40	2.10%
サービス付き高齢者専用住宅	24	1.26%
有料老人ホーム	22	1.16%
計	1,901	100%

8) 医療処置の実施状況

全事業所が実施している医療処置は、これまでの調査同様、服薬だけである。
 吸入・吸引、インスリン、点滴・静脈・持続皮下注射は185ヶ所（98.4%）が実施している。
 在宅腹膜灌流は131ヶ所（69.7%）と少ないが、前回調査より17ヶ所増えている。
 PTやOTによるリハビリも110ヶ所（58.5%）と15ヶ所増えている。

表37 医療処置の実施状況 (n=188)

項目	対応可能		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	185	98.4%	167	97.1%	125	92.6%		
点滴・静脈・持続皮下注射	185	98.4%	169	98.3%	130	96.3%	115	95.3%
中心静脈栄養	178	94.7%	161	93.6%	120	88.9%	104	84.6%
在宅自己腹膜灌流	131	69.7%	114	66.3%	89	65.9%	66	53.7%
ストーマケア	182	96.8%	167	97.1%	129	95.6%	117	95.1%
在宅酸素療法	182	96.8%	167	97.1%	132	97.8%	119	96.8%
人工呼吸器	165	87.8%	147	85.5%	115	85.2%	91	74.0%
気管カニューレ	178	94.7%	159	92.4%	122	90.4%	110	89.4%
吸入・吸引	185	98.4%	168	97.7%	130	96.3%	120	97.6%
服薬	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%
経管栄養	184	97.9%	168	97.7%	131	97.0%	121	98.4%
褥瘡処置	184	97.9%	169	98.3%	134	99.3%	122	99.2%
留置カテーテル (膀胱内・薬、胃腸)	181	96.3%	166	96.5%	130	96.3%	120	97.6%
ペインコントロール	170	90.4%	157	91.3%	122	90.4%	108	87.8%
在宅リハビリ (看護師)	182	96.8%	166	96.5%	131	97.0%	118	95.9%
(PT, OTによる)	110	58.5%	95	55.2%	76	56.3%	68	55.3%

3 対象者別対応状況

対象者別対応状況をみると、悪性新生物と難病に対してはほとんどの事業所が対応している。
 小児については130ヶ所（69.2%）で、前回調査より5ヶ所増に留まっている。
 精神の訪問は106ヶ所（56.4%）で、前回より4ヶ所しか増えていない。

それぞれの年齢別利用者数では、小児は前回同様1～6歳が最も多い。次いで6～15歳が多い。
 難病は1～15歳の利用者が増えた他は、全体的に利用者が減っている。
 悪性新生物は75～99歳が最も多い。全体的に利用者は減少している。
 精神は40～64歳が最も多く、前回調査時より若干増えている他は、全体的に減少している。

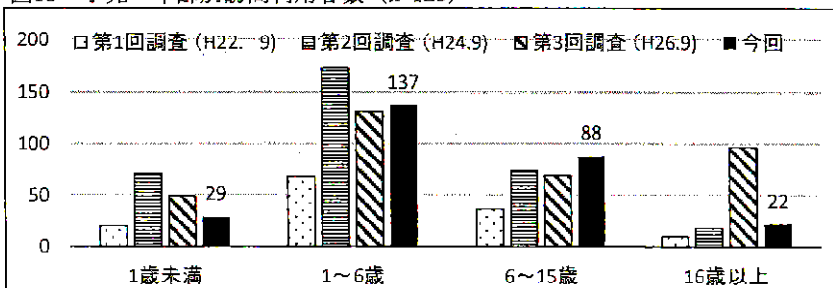
表38 対象別対応状況 (n=188)

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	ST数	割合	ST数	割合	ST数	割合	ST数	割合
小児	130	69.2%	125	72.7%	88	65.2%	73	59.4%
難病	180	95.7%	163	94.8%	130	96.3%	115	93.5%
悪性新生物	181	96.3%	165	95.9%	129	95.6%	119	96.8%
精神	106	56.4%	102	59.3%	86	63.7%	73	59.4%

表39 小児 年齢別訪問利用者数

年齢	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1歳未満	29	10.5%	49	14.1%	71	21.1%	20	14.8%
1～6歳	137	49.6%	131	37.9%	173	51.5%	68	50.4%
6～15歳	88	31.9%	69	20.0%	74	22.0%	37	27.4%
16歳以上	22	8.0%	97	28.0%	18	5.4%	10	7.4%
計	276	100%	346	100%	336	100%	135	100%

図15 小児 年齢別訪問利用者数 (n=129)



今回の調査では、後期高齢者の年齢を75歳～99歳と100歳以上に変更した。

表40 難病 年齢別利用者数 (n=180)

年齢	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	105	6.43%	44	1.1%	133	2.5%	13	1.1%
16～39歳	62	3.79%	125	3.0%	45	0.9%	45	3.7%
40～64歳	249	15.24%	569	13.7%	900	17.0%	104	8.6%
65～74歳	428	26.19%	1,703	40.9%	1,658	31.4%	274	22.6%
75～99歳	773	47.31%	1,652	39.6%	2,525	47.8%	748	61.8%
100歳以上	17	1.04%	73	1.7%	24	0.4%	26	2.2%
計	1,634	100.0%	4,166	100%	5,285	100%	1,210	100%

図16 難病 年齢別利用者数

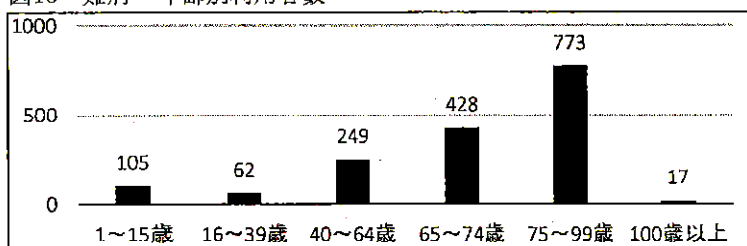


表41 悪性新生物 年齢別利用者数 (n=181)

年齢	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	件数	割合	件数	割合
1～15歳	3	0.1%	5	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
16～39歳	13	0.5%	10	0.3%	282	8.1%	4	0.2%
40～64歳	288	11.3%	478	15.9%	439	12.7%	161	9.7%
65～74歳	595	23.3%	629	21.0%	932	26.9%	404	24.4%
75～99歳	1,645	64.3%	1,639	54.6%	1,472	42.5%	888	53.5%
100歳以上	13	0.5%	241	8.0%	339	9.8%	203	12.2%
計	2,557	100%	3,002	100%	3,464	100%	1,660	100%

図17 悪性新生物 年齢別利用者数

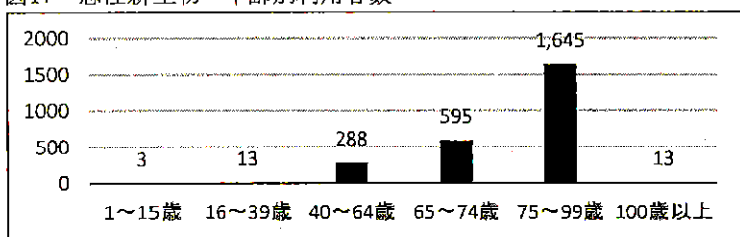
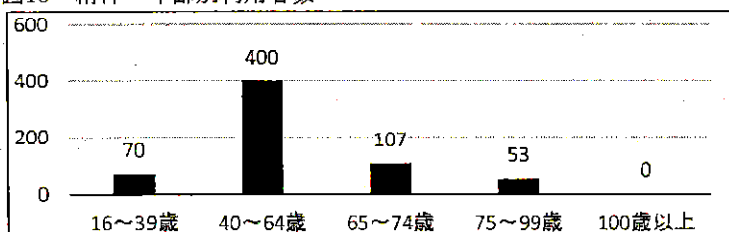


表42 精神 年齢別利用者数 (n=105)

年齢	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	件数	割合	件数	割合
16～39歳	70	11.1%	78	11.7%	102	11.2%	38	12.2%
40～64歳	400	63.5%	307	46.1%	495	54.2%	148	47.6%
65～74歳	107	17.0%	140	21.0%	210	23.0%	49	15.8%
75～99歳	53	8.4%	104	15.6%	97	10.6%	60	19.3%
100歳以上	0	0.0%	37	5.6%	9	1.0%	16	5.1%
計	630	100%	666	100%	913	100%	311	100%

図18 精神 年齢別利用者数



4. 平成27年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業状況

1) 新規就業者数（平成27年度中）

平成27年度中の新規就業者数は、常勤156人（58.65%）、非常勤110人（41.35%）で、常勤での就業者が増加している。
 就業者の看護職としての経験年数は、常勤・非常勤共に10年以上が最も多く、常勤・非常勤合わせて209人（78.6%）である。
 就業前の職場は、常勤・非常勤共に病院・診療所が最も多く、合わせて136人（51.1%）である。
 無職だった人は、常勤では無かったが、非常勤で14人（12.7%）いた。
 就業につながった募集方法は、「紹介」「その他」が多く、常勤・非常勤合わせて204人（76.7%）である。

表43 看護職員の新規就業者数（n=188）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤	156	58.65%	144	47.7%	89	50.9%	56	34.8%
非常勤	110	41.35%	158	52.3%	86	49.1%	105	65.2%
計	266	100%	302	100%	175	100%	161	100%

表44 看護職員としての経験年数

経験年数	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	2	1.3%	0	0%
1～3年	6	3.9%	3	2.7%
4～9年	26	16.7%	20	18.2%
10年以上	122	78.2%	87	79.1%
計	156	100%	110	100%

表45 訪問看護の経験

経験の有無	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
経験あり	60	38.5%	41	37.3%
経験なし	96	61.5%	69	62.7%
計	156	100%	110	100%

表46 就職前の職場

職場種類	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	87	55.8%	49	44.6%
介護施設	41	26.3%	26	23.6%
その他	28	18.0%	21	19.1%
無職	0	0%	14	12.7%
計	156	100%	110	100%

表47 新採用者の募集方法

採用方法	今回				第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	常勤		非常勤		人数	割合	人数	割合	人数	割合
	人数	割合	人数	割合						
ナースセンター	10	6.4%	5	4.6%	11	3.7%	14	8.0%	8	4.9%
職安	14	9.0%	10	9.1%	29	9.6%	27	15.4%	27	16.8%
求人誌	11	7.1%	12	10.9%	36	11.9%	22	12.6%	16	10.0%
紹介	78	50.0%	53	48.2%	110	36.4%	61	34.9%	61	37.9%
その他	43	27.6%	30	27.3%	116	38.4%	51	29.1%	49	30.4%
計	156	100%	110	100%	302	100%	175	100%	161	100%

2) 求人状況（平成28年6月現在）

求人状況は、常勤の募集が101ヶ所、非常勤の募集が82ヶ所であった。
 求人方法は、ハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。

表48 求人方法（複数回答、n=183）

求人方法	今回	
	数	割合
ハローワーク	87	47.5%
ナースセンター	73	39.9%
求人誌	43	23.5%
その他	42	23.0%
計	245	

3) 退職者について

退職者は168人で、内訳は常勤85人（50.6%）、非常勤83人（49.4%）で、共に前回調査より増加しているが、常勤での退職者0の事業所は130ヶ所（69.15%）、非常勤での退職者0の事業所は129ヶ所（68.62%）と7割近い事業所では退職者はいない。

常勤の退職者数は1人が最も多く、40ヶ所（21、28%）であった。退職者が最も多かった事業所では6人が退職している。その退職理由は、出産・育児が2人、転居が1人、休日がとれないが3人であった。非常勤の退職者数も1人が最も多く44ヶ所（23.40%）であった。非常勤の退職者で最も多かった事業所では7人が退職をしている。その退職理由は、本人の健康が1人、人間関係が1人、契約期限による退職が5人であった。

退職者が2人以上の事業所の設置からの経過年数をみると、常勤では、設置から1～2年と3～5年はそれぞれ5ヶ所（27.8%）で、合せて全体の半分以上であった。

非常勤退職の場合は、1～2年が4ヶ所（26.7%）、3～4年が3ヶ所（20.0%）であった。

勤続年数でみると、常勤・非常勤共に1年未満が最も多く、4割前後が1年以内に退職をしている。次いで多いのは、常勤では勤続5年以上で、非常勤では1～2年である。

前回同様、就業して2年以内での退職が、常勤では52人（61.2%）、非常勤では50人（60.2%）と、退職者の半数以上を占めている。

退職の理由は、これまでの調査結果同様、本人と家族の健康問題が最も多い。次いで多いのは、常勤では「携帯当番の負担」が10人、非常勤では出産・育児が8人であった。

【常勤退職者について】

表49 常勤の退職者状況（n=188）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	130	69.15%
1	40	21.28%
2	13	6.91%
3	3	1.60%
4	1	0.53%
6	1	0.53%
合計	188	100%

表50 常勤退職者2人以上の事業所の設置経過年数（n=18）

開設経過年数	退職者数別事業所数				合計	割合
	2人	3人	4人	6人		
1～2年	4	0	0	1	5	27.8%
3～4年	3	1	1	0	5	27.8%
5～10年	2	0	0	0	2	11.1%
11年以上	4	2	0	0	6	33.3%
計	13	3	1	1	18	100%

表51 退職者の勤務年数（n=85）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	1年未満	35	41.2%	25	35.2%	9	19.2%	16
1～2年	17	20.0%	13	18.3%	13	27.7%	8	17.4%
2～3年	7	8.2%	6	8.5%	5	10.6%	5	10.9%
3～5年	6	7.1%	6	8.5%	1	2.1%	7	15.2%
5年以上	20	23.5%	21	29.5%	19	40.4%	10	21.7%
計	85	100%	71	100%	47	100%	46	100%

表52 主な退職理由（n=85 複数回答あり）

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出産・育児	6	7.1%	5	7.0%	3	6.4%	5	10.9%
結婚	2	2.4%	1	1.4%	1	2.1%	2	4.4%
本人の健康問題	14	16.5%	13	18.3%	8	17.0%	10	21.7%
家族の健康問題	4	4.7%	4	5.6%	8	17.0%	4	8.7%
転居	4	4.7%	4	5.6%	4	8.5%	6	12.8%
進学	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
人間関係	4	4.7%	7	9.9%	6	12.8%	1	2.2%
訪問看護が合わない	8	9.4%	9	12.7%	3	6.4%		
勤務時間長い・超勤多い	5	5.9%	1	1.4%	0	0%	1	2.2%
休日がとれない	5	5.9%	4	5.6%	1	2.1%	0	0%
携帯当番の負担	10	11.8%	5	7.0%	7	14.9%	4	8.7%
給与に不満	6	7.1%	5	7.0%	7	14.9%	1	2.2%
責任・医療事故への不安	4	4.7%	3	4.2%	2	4.3%	0	0%
その他	26	30.6%	16	22.5%	10	21.3%	14	30.4%
計								

【非常勤退職者について】

表53 非常勤の退職状況（n=188）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	129	68.62%
1	44	23.40%
2	10	5.32%
3	4	2.13%
7	1	0.53%
合計	188	100%

表54 非常勤退職者2人以上の事業所の設置経過年数（n=15）

開設経過年数	退職者数別事業所数			合計	割合
	2人	3人	7人		
1～2年	2	2	0	4	26.7%
3～4年	3	0	0	3	20.0%
5～10年	1	0	1	2	13.3%
11年以上	4	2	0	6	40.0%
計	10	4	1	15	100%

表55 退職者の勤務年数 (n=83)

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	32	38.6%	31	43.6%	17	34.0%	15	28.3%
1～2年	18	21.7%	8	11.3%	10	20.0%	12	22.6%
2～3年	12	14.5%	13	18.3%	7	14.0%	4	7.5%
3～5年	9	10.8%	11	15.5%	7	14.0%	11	20.8%
5年以上	12	14.5%	8	11.3%	9	18.0%	11	20.8%
計	83	100%	71	100%	50	100%	53	100%

表56 主な退職理由 (n=83 複数回答あり)

	今回		第3回調査 (H26.9)		第2回調査 (H24.9)		第1回調査 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
出産・育児	8	9.6%	5	7.0%	7	14.0%	6	11.3%
結婚	0	0%	1	1.4%	0	0.0%	3	5.7%
本人の健康問題	14	16.9%	6	8.5%	9	18.0%	14	26.4%
家族の健康問題	5	6.0%	12	16.9%	8	16.0%	5	9.4%
転居	5	6.0%	9	12.7%	3	6.0%	6	11.3%
進学	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
人間関係	6	7.2%	2	2.8%	3	6.0%	3	5.7%
訪問看護が合わない	4	4.8%	3	4.2%	5	10.0%		
勤務時間長い・超勤多い	0	0%	2	2.8%	0	0%	0	0%
休暇がとれない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
携帯当番の負担	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
給与に不満	3	3.6%	1	1.4%	4	8.0%	1	1.9%
責任・医療事故への不安	4	4.8%	8	11.3%	3	6.0%	2	3.8%
その他	39	47.0%	27	38.0%	17	34.0%	13	24.5%
計	90							

退職理由の記述から

常勤	非常勤
免職	事業所の体制強化で常勤が条件となったため
業務、看護観の相違	時間拘束によるストレス
利用者どとめつくり向き合うことが苦手	管理者との関係(2)
訪問先からのクレーム(2)	職員関係のトラブル
患者とのコミュニケーションがとり辛い	アセスメントが的確にできない
通勤時間がかかる	単独での訪問に不安が強い
趣味を生かしたい	服務規程違反を注意したため
定年退職(4)	シングルマザーになり給与面で困難
ST立ち上げ(4)	扶養の範囲内で働きたい
家族の都合	家から近いところで働きたい
子供の就学のため	運転が苦手
転職	独立開業のため、転職(4)
	子育てのため、家業手伝い
	他のステーションへ

退職後の動向

退職後の動向は、わかっている範囲では、常勤は病院・診療所が最も多く、非常勤は介護施設が最も多かった。常勤・非常勤共に他のステーションへの就職もあった。

表57 退職後の動向

退職後の動向	今回			
	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	18	21.2%	14	16.9%
介護施設	11	12.9%	16	19.3%
他のステーション	17	20.0%	12	14.5%
その他	8	9.4%	21	25.3%
不明	31	36.5%	20	24.1%
計	85	100%	83	100%

平成28年度 静岡県訪問看護実態調査 (病院・診療所)

I 目的

本調査は、静岡県内のみなし訪問看護の実態を把握し、今後の訪問看護活動の発展向上に役立てることを目的としています。

II 調査概要

1. 調査対象 静岡県内で、平成27年度にみなし訪問看護実績のあった病院・診療所 62ヶ所
(東部20ヶ所、中部25ヶ所、西部17ヶ所)
2. 回答件数 38件 (回収率61.3%)
3. 調査内容
 - 1) みなし訪問看護の実施状況
 - 2) 看護職員の就業状況
 - 3) 看護職員の研修受講状況

III 調査方法

郵送配布・回収 (日記方式)

IV 調査期間

平成28年5月16日～7月15日
調査基準期間：平成28年6月1日～30日

V 調査結果

1. 医療機関の概要

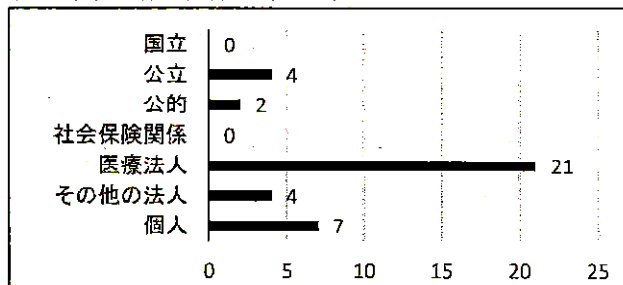
1) 設置主体

医療法人が21ヶ所 (55.3%) と最も多い。次いで個人の7ヶ所 (18.4%) であった。その他の法人は4ヶ所 (10.5%) で、内訳は社会福祉法人・社会福祉事業団・公益社団法人・株式会社が各1ヶ所であった。

表1 設置主体別割合 (n=38)

設置主体	数	割合
国立	0	0%
公立	4	10.5%
公的	2	5.3%
社会保険関係	0	0%
医療法人	21	55.3%
その他の法人	4	10.5%
個人	7	18.4%
計	38	100%

図1 設置主体別割合 (n=38)



2) 病院の種類 (病床の種類)

入院施設のある17ヶ所の内「一般病床のみ」が9ヶ所 (52.9%)、一般病床に加え介護療養型病床があるところは5ヶ所 (29.4%) であった。介護療養病床のみのところは3ヶ所 (17.7%) であった。精神科・結核等の病床は無かった。

表4 病床の種類 (n=17)

種類	数	割合
一般のみ	9	52.9%
一般に介護療養病床有	5	29.4%
介護療養病床のみ	3	17.7%
精神	0	0%
その他 (結核・感染症)	0	0%
計	17	100%

3) 入院設備 (医療施設の種類の)

入院設備は「有床」が17ヶ所 (44.7%)、「無床」が21ヶ所 (55.3%) であった。「有床」の内訳は、19床以下の診療所が6ヶ所 (35.3%)、20～99床が3ヶ所 (17.6%)、100～300床が4ヶ所 (23.5%)、300床以上が4ヶ所 (23.5%) であった。

表2 入院設備の有無 (n=38)

	数	割合
有床	17	44.7%
無床	21	55.3%
計	38	100%

表3 有床数の内訳 (n=17)

有床数の内訳	数	割合
19床以下	6	35.3%
20～99床	3	17.6%
100～300床	4	23.5%
301床以上	4	23.5%
計	17	100%

4) 同一設置主体の併設事業

同一設置主体で「併設事業を実施している」のは、38ヶ所全てであった。事業の内訳は、訪問看護が最も多く38ヶ所全てで実施している。次いで診療所の29ヶ所 (76.32%) であった。訪問リハビリは11ヶ所 (28.95%)、通所リハビリは10ヶ所 (26.32%) であった。

表5 併設事業の有無 (n=38)

併設事業の有無	数	割合
併設事業を実施	38	100%
併設事業なし	0	0%
計	38	100%

表6 同一設置主体の併設事業の内訳 (n=38) 複数回答

事業の種類	数	割合
訪問看護	38	100%
診療所	29	76.32%
病院	11	28.95%
訪問リハビリ	11	28.95%
通所リハビリ	10	26.32%
介護療養型医療施設	8	21.05%
居宅介護支援	8	21.05%
老人保健施設	7	18.42%
短期入所療養介護	4	10.53%
訪問介護	3	7.89%
通所介護	3	7.89%
サービス付き高齢者住宅	2	5.26%
短期入所生活介護	2	5.26%
訪問入浴介護	1	2.63%
グループホーム	1	2.63%
特別養護老人ホーム	1	2.63%
療養通所介護	0	0%
福祉用具貸与	0	0%
ケアハウス	0	0%
小規模多機能	0	0%
看護小規模多機能	0	0%

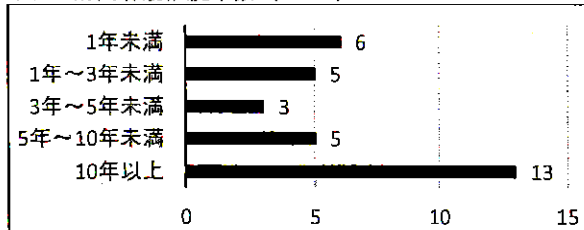
5) 訪問看護を開始してからの年数

訪問看護を開始してからの年数は「10年以上」が19ヶ所 (50.0%) と最も多く、次いで「1年未満」が6ヶ所 (15.8%) であった。

表7 訪問看護継続年数 (n=38)

継続年数	数	割合
1年未満	6	15.8%
1年～3年未満	5	13.2%
3年～5年未満	3	7.9%
5年～10年未満	5	13.2%
10年以上	19	50.0%
計	38	100%

図2 訪問看護継続年数 (n=38)



6) 加算の届出状況

加算の届出状況は、「特別管理体制加算」が16ヶ所 (42.2%) と最も多く、次いで「緊急時訪問看護加算」が14ヶ所 (36.8%) であった。「看護体制強化加算」を届出している医療機関はなかった。その他として、「初回加算」の届出をしているところが1ヶ所 (2.6%) あった。

表8 加算の届出状況 (n=38) 複数回答

加算の種類	届出の有無	
	数	割合
特別管理体制加算	16	42.1%
緊急時訪問看護加算	14	36.8%
ターミナルケア体制加算	13	34.2%
サービス体制強化加算	4	10.5%
その他 (初回加算)	1	2.6%
看護体制強化加算	0	0%

7) 独立部門としての設置状況

訪問看護を独立部門として「設置している」ところが8ヶ所 (21.1%)、「設置していない」ところが30ヶ所 (78.9%) であった。

訪問看護部を設置している内には、訪問看護を開始して10年以上経過しているところが7ヶ所 (87.5%) あった。

表9 訪問看護部門設置 (n=38)

	数	割合
設置あり	8	21.1%
設置なし	30	78.9%
計	38	100%

表10 訪問看護部門設置年数 (n=8)

	数	割合
5～10年未満	1	12.5%
10年以上	7	87.5%
計	8	100%

2. 看護職員体制

1) 看護職員

「看護職員」は、看護師が88人（86.27%）と最も多く、次いで准看護師が12人（11.76%）であった。保健師は2人（1.96%）と少なく、助産師は0人であった。

看護職員の常勤換算数は「1.0人以下」が21ヶ所（55.3%）と最も多く、次いで「2.0～2.9人」が6ヶ所（15.8%）であった。

1医療機関あたりの看護職員の常勤換算数は、1.7人であった。

表11 看護職員数 平成28年6月現在（単位：人）

	従事者数				常勤換算数	
	総数	常勤		非常勤	人数	構成割合
		専従	兼務			
総数	102	39	39	24	64.71	100%
保健師	2	1	1	0	1.5	2.3%
助産師	0	0	0	0	0	0%
看護師	88	36	33	19	59.2	91.5%
准看護師	12	2	5	5	4.01	6.2%

表12 1医療機関あたりの看護職員数（n=38）

	従事者数			常勤換算従事者数 人数
	総数	常勤	非常勤	
総数	2.68	2.05	0.63	1.7
保健師	0.05	0.05	0	0.04
助産師	0	0	0	0
看護師	2.32	1.82	0.5	1.56
准看護師	0.32	0.18	0.13	0.11

表13 常勤換算数と医療機関数（n=38）

常勤換算数	医療機関数	割合
1.0以下	21	55.3%
1.1～1.9	4	10.5%
2.0～2.9	6	15.8%
3.0～3.9	3	7.9%
4.0～4.9	2	5.3%
5.0以上	2	5.3%
計	38	100%

看護職員の常勤換算数を地区別でみると、看護師では東部が1.98人と最も多い。

表14 看護職の地区別常勤換算数

	東部	中部	西部
保健師	0	0	0.1
助産師	0	0	0
看護師	1.98	1.05	1.6
准看護師	0.12	0.15	0.07

常勤換算数と訪問看護部門設置

訪問看護部門を設置している8ヶ所の常勤換算数は、「3.0～3.9」が3ヶ所（37.5%）と最も多く、次いで「4.0以上」が2ヶ所（25.0%）であった。

訪問看護部門を設置していない30ヶ所の常勤換算数は「1.0以下」が19ヶ所（63.3%）で最も多かった。「4.0以上」のところは2ヶ所（6.7%）であった。

表15 訪問看護部門あり（n=8）

常勤換算数	数	割合
1.0以下	2	25.0%
1.1～1.9	0	0%
2.0～2.9	1	12.5%
3.0～3.9	3	37.5%
4.0以上	2	25.0%
計	8	100%

表16 訪問看護部門なし（n=30）

常勤換算数	数	割合
1.0以下	19	63.3%
1.1～1.9	4	13.3%
2.0～2.9	5	16.7%
3.0～3.9	0	0%
4.0以上	2	6.7%
計	30	100%

2) 専門・認定看護師の有無

専門・認定看護師の有無は、「いる」が5ヶ所（13.2%）、「いない」が33ヶ所（86.8%）であった。

認定看護師の分野は、訪問看護認定看護師が3人（60.0%）、脳卒中リハビリテーション看護が1人（20.0%）摂食嚥下障害看護が1人（20.0%）であった。

表17 専門・認定看護師の有無（n=38）

	数	割合
いる	5	13.2%
いない	33	86.8%
計	38	100%

表18 認定看護師の分野（n=5）

分野	人数	割合
訪問看護	3	60.0%
脳卒中リハビリテーション看護	1	20.0%
摂食嚥下障害看護	1	20.0%
計	5	100%

3. 研修受講状況

研修受講状況は「受講あり」が19ヶ所 (50.0%)、「受講なし」が18ヶ所 (47.4%) とほぼ同率であった。「受講予定」は1ヶ所 (2.6%) であった。「受講あり」の理由は、「受講したい内容だった」が16ヶ所 (84.2%) と最も多い。「受講なし」の理由は、「業務多忙で受講できない」が12ヶ所 (66.7%) と最も多く、次いで「研修の開催を知らなかった」が11ヶ所 (61.1%) であった。「研修の必要性を感じない」が1ヶ所 (5.6%) あり、「教科書・資料・講演では意味がない」という回答であった。研修開催を知らなかったが「情報があれば受講させる」は8ヶ所 (88.9%) である。受講させないとした1ヶ所の理由は、「業務多忙のため」である。

表19 研修受講の有無 (n=38)

受講	数	割合
受講あり	19	50.0%
受講なし	18	47.4%
受講予定	1	2.6%
計	38	100%

表20 受講ありの理由 (n=19) 複数回答

理由	数	割合
受講したい内容だった	16	84.2%
情報交換できるから	11	57.9%
参加しやすい地域で開催されたから	7	36.8%

表21 受講なしの理由 (n=18) 複数回答

理由	数	割合
業務多忙で受講できない	12	66.7%
研修の開催を知らなかった	9	50.0%
参加しやすい地域ではなかった	5	27.8%
受講したい内容がない	2	11.1%
研修の必要性を感じない	1	0.6%

表22 開催を知らないが情報があれば (n=9)

	数	割合
受講させる	8	88.9%
受講させない	1	11.1%
計	9	100%

4. 遠隔地への訪問看護状況

遠隔地への訪問看護を「実施している」が10ヶ所 (26.3%)、「実施していない」は28ヶ所 (73.7%) である。遠隔地訪問を実施していない理由は、「必要な人がいない」が23ヶ所 (82.1%) で最も多く、「対応できない」は5ヶ所 (17.9%) であった。「対応できない」と回答した5ヶ所のうち2ヶ所は、人員不足をあげている。「助成があれば対応できる」が2ヶ所、「助成があっても対応できない」は1ヶ所であった。

表23 遠隔地への訪問看護 (n=38)

実施の有無	数	割合
実施している	10	26.3%
実施していない	28	73.7%
計	38	100%

表24 遠隔地訪問しない理由 (n=28)

理由	数	割合
必要な人がいない	23	82.1%
対応できない	5	17.9%
計	28	100%

遠隔地への訪問看護を実施している医療機関の所在地は、西部地区では浜松市天竜区2ヶ所と磐田市の2ヶ所、浜松市北区・浜松市中区の各1ヶ所で、合計6ヶ所である。中部地区では、静岡県葵区で2ヶ所、島田市川根、牧之原市の各1ヶ所で、合計4ヶ所である。東部地区では伊豆半島の伊豆市の1ヶ所のみである。

表25 地区別の遠隔地へ対応状況 (n=11)

【東部】		【中部】		【西部】	
住所	数	住所	数	住所	数
伊豆市小立野	1	静岡県葵区井川	1	磐田市新開	2
計	1	静岡県葵区追手町	1	浜松市北区三方原	1
		島田市川根	1	浜松市天竜区西藤平	1
		牧之原市細江	1	浜松市天竜区佐久間町	1
		計	4	浜松市中区小豆餅	1
				計	6

5. 利用者の状況 (平成28年6月1日～6月30日の1ヶ月)

1) 利用者の年齢・性別

平成28年6月の1ヶ月間の訪問看護利用者総数は、439人であった。男女比率は、男性208人 (47.4%)、女性231人 (52.6%) であった。年齢別では75～99歳が最も多く、289人 (65.8%) と訪問看護利用者全体の半数以上を占めている。

表26 利用者の年齢別・性別

	性別		利用者総数	
	男性 人数	女性 人数	人数	割合
0～15歳	16	6	22	5.0%
16～39歳	9	11	20	4.6%
40～64歳	21	15	36	8.2%
65～74歳	32	33	65	14.8%
75～99歳	130	159	289	65.8%
100歳以上	0	7	7	1.6%
計	208	231	439	100%

2) 保険別利用者数と延べ訪問回数

保険別の利用者数は、介護保険が273人（62.2%）、医療保険が162人（36.9%）であった。保険別利用者数、訪問回数の割合は共に、介護保険が全体の半数以上を占めていた。

表27 保険別利用者数 (n=37)

	利用者数	
	人数	割合
介護保険	273	62.2%
医療保険	162	36.9%
その他	4	0.9%
計	439	100%

表28 保険別訪問回数 (n=37)

	訪問回数	
	回数	割合
介護保険	1159	60.9%
医療保険	730	38.4%
その他	14	0.7%
計	1903	100%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険利用者を介護度別で見ると、要介護4が最も多く66人（24.2%）であった。次いで要介護2が53人（19.4%）、要介護3が48人（17.6%）であった。要支援1.2は最も少なく15人（5.5%）であった。

表29 介護度別利用者状況 (人数)

	利用者数	
	人数	割合
要支援1・2	15	5.5%
要介護1	45	16.5%
要介護2	53	19.4%
要介護3	48	17.6%
要介護4	66	24.2%
要介護5	46	16.8%
計	273	100%

表30 介護度別利用者状況 (回数)

	訪問回数	
	回数	割合
要支援1・2	60	5.2%
要介護1	169	14.6%
要介護2	227	19.6%
要介護3	211	18.2%
要介護4	283	24.4%
要介護5	209	18.0%
計	1159	100%

図3 介護度別利用者状況 (人数)

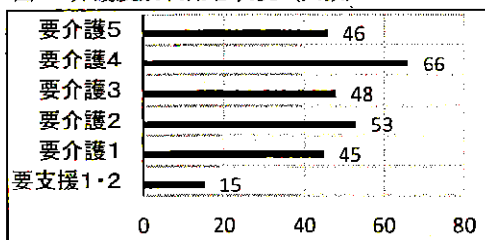
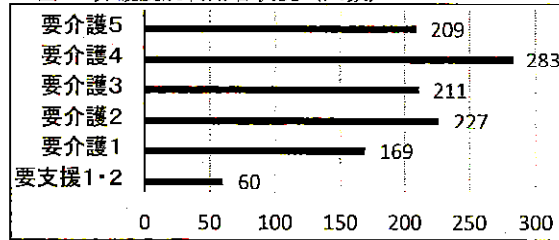


図4 介護度別利用者状況 (回数)



4) 在宅での看取り件数

平成27年度中の在宅での看取りは436件であった。

看取りを行った医療機関のうち、看取り数1~5件が11ヶ所（28.9%）と最も多く、50件以上の看取りを行っているのは3ヶ所（7.9%）である。

看取りを行っていない医療機関は、20ヶ所（52.6%）であった。

看取り数を地区別で見ると、西部が183件（42.0%）と最も多かった。

表31 看取り数 (n=38)

看取り数	医療機関数	割合
0	20	52.6%
1~5	11	28.9%
6~10	2	5.3%
11~15	1	2.6%
16~20	0	0%
21~30	0	0%
31~40	0	0%
41~50	1	2.6%
50以上	3	7.9%
計	38	100%

図5 看取り数

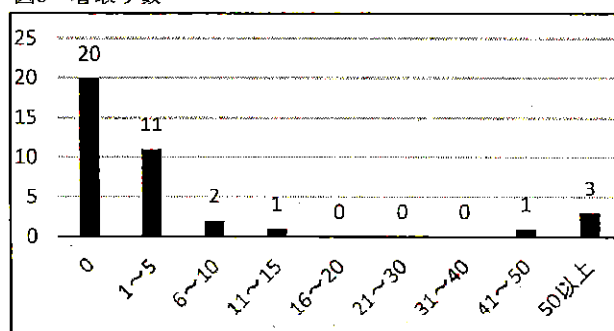
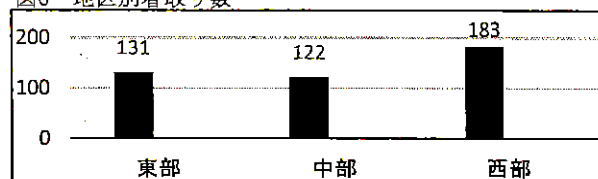


表32 地区別看取り数 (n=38)

	数	割合
東部	131	30.0%
中部	122	28.0%
西部	183	42.0%
計	436	100%

図6 地区別看取り数



6. 医療処置の実施状況

医療処置の実施状況は、「褥瘡の処置」が33ヶ所（86.8%）と最も多く、次いで「点滴・静脈注射・持続皮下注射」、「服薬」を32ヶ所（84.2%）実施している。「留置カテーテル」「吸入・吸引」が31ヶ所（81.6%）実施し、「在宅酸素療法」、「経管栄養」が30ヶ所（78.9%）実施していた。「在宅自己腹膜還流」は10ヶ所（26.3%）と最も少なかった。

表33 医療処置の実施状況 (n=38) 複数回答

	可		不可	
	機関数	割合	機関数	割合
褥瘡の処置	33	86.8%	5	13.2%
点滴・静脈注射・持続皮下注射	32	84.2%	6	15.8%
服薬	32	84.2%	6	15.8%
留置カテーテル（膀胱内・腎瘻・膀胱瘻）	31	81.6%	7	18.4%
吸入・吸引	31	81.6%	7	18.4%
在宅酸素療法	30	78.9%	8	21.1%
経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）	30	78.9%	8	21.1%
インスリン	29	76.3%	9	23.7%
ストーマケア	25	65.8%	13	34.2%
中心静脈栄養	23	60.5%	15	39.5%
ペインコントロール	22	57.9%	16	42.1%
在宅リハビリ（看護師による）	22	57.9%	16	42.1%
気管カニューレ	21	55.3%	17	44.7%
人工呼吸器	18	47.4%	20	52.6%
在宅自己腹膜灌流	10	26.3%	28	73.7%

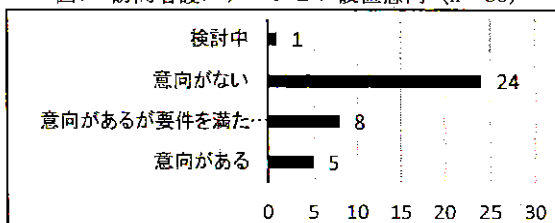
7. 訪問看護ステーション設置意向

訪問看護ステーション設置意向について、「意向がない」が24ヶ所（63.2%）と最も多い。「意向はあるが要件を満たさない」が8ヶ所（21.1%）、「意向がある」が5ヶ所（13.2%）であった。「意向がある」の内2ヶ所は既に訪問看護ステーションを設置している。訪問看護部門を設置している医療機関で訪問看護ステーション設置の意向があるのは、2ヶ所（5.3%）であった。

表34 訪問看護ステーション設置意向 (n=38)

	数	割合
意向がある	5	13.2%
意向があるが要件を満たさない	8	21.1%
意向がない	24	63.2%
検討中	1	2.6%
計	38	100%

図7 訪問看護ステーション設置意向 (n=38)



「長寿者保健福祉計画」は、3年ごとに取り組む施策と目標を示すもので、県では、平成29年度中に第8次計画(第8次静岡県老人福祉計画+第7期静岡県介護保険事業支援計画)(計画期間H30~32)を策定する。また、市町では、第7期介護保険事業計画を策定する。

◎第7期介護保険事業計画に求められるもの

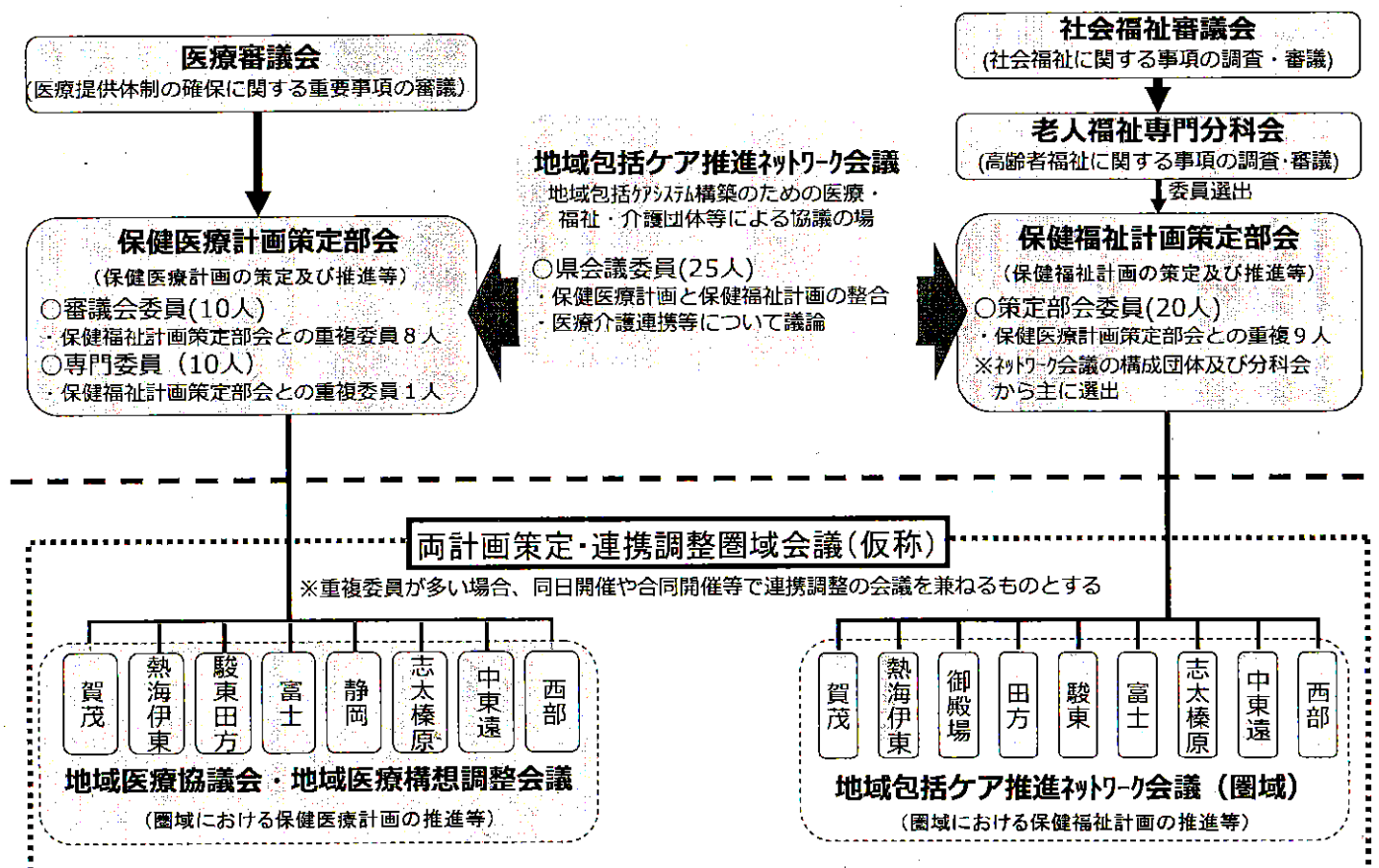
➤総論

- 2025年の介護需要、サービス種類毎の量の見込み、必要な保険料水準
- 第7期から第9期における段階的充実の方針
 その中で第7期の目指す目標、具体的な施策
- 介護保険事業計画と県の保健医療計画における目標数値等の整合性の確保
 ⇒医療分野の必要量(例:地域医療構想で掲げる在宅医療等<H37:1,024人/日>)と市町の介護保険事業計画で掲げる介護サービスの目標値との整合性を図る

➤地域包括ケアシステムの深化・推進(具体的なポイント)

- 居宅・地域密着型サービスの充実
- 地域における医療・介護連携の推進、多職種連携の推進
- 医療・介護人材(事業者)の確保
- 総合的な認知症施策の推進
- 療養病床の転換(医療+介護 → 介護)
- 住民(県民)に対する啓発(理解促進)

第8次静岡県保健医療計画及び第8次静岡県長寿者保健福祉計画の策定体制



富士地域医療構想調整会議委員の皆様

本日は調整会議に御出席ありがとうございました。限られた時間の中で御議論できない部分が多々ございましたので、今後の調整会議、保健医療計画に反映させていただくため別紙項目について御意見がありましたらお伺いしたいと存じます。

なお、御意見のあるもののみですべてを記載していただく必要はございません。

恐縮ですが、御意見なしの場合もその旨御連絡くださいますようお願い申し上げます。

御提出は、FAX又はメールにより富士保健所あて2月15日(水)までにお送りください。

メールにより御対応いただけるよう、様式をメール送信いたしますので、返信という形でお返しいただければと思います。

FAX番号 0545-65-2288

メールアドレス kffuji-iken@pref.shizuoka.lg.jp

疾病・事業ごとのデータから見た地域課題と今後の方策案

I-1 がん	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
<p>1-1 がん</p> <p>富士</p>	<p>・駿河田方圏域への患者流出が見られる。 ・SMRが県全体に対して上回っている。特に肝がんは高い水準にある。</p>	<p>＜案＞ ・専門病院である「県立静岡がんセンター」への受診希望者が多い。 ・がん検診後の精密検査の受診率の低いもの（大腸がん、子宮頸がん）が見られる。C型肝炎のキャリアが多い</p>	<p>＜案＞ ・患者の希望にまかせた状態である ・末期となった場合の管内医療機関との連携がとれていない ・管内医療機関で何をどこまで対応できるかが、管内住民に周知できていない ・検診率向上の啓発 ・がん以前の治療に対する医療費助成、肝炎検査の受診の啓発</p>	<p>今後の方策案</p>
<p>I-2 脳卒中</p> <p>富士</p>	<p>データから見た地域課題</p> <p>・危険因子である高血圧有病者、メタボリックシンドローム該当者が多い。</p>	<p>想定される原因</p> <p>＜案＞ ・交代勤務により不規則な生活を多く、また、夕食後の夜食や間食を食べる者の割合が高いことから、肥満者が多い、喫煙率が高い ・偏った食生活により、塩分摂取量や脂肪摂取量が多い傾向がある。</p>	<p>現状の対応</p> <p>＜案＞ ・市や圏域の関係機関・団体と連携し、住民や事業所への生活習慣病予防の対策を推進している。</p>	<p>今後の方策案</p>
<p>I-3 心筋梗塞等の心血管疾患</p> <p>富士</p>	<p>データから見た地域課題</p> <p>・駿河田方圏域への患者流出が見られる。 ・危険因子である高血圧有病者、メタボリックシンドローム該当者が多い。</p>	<p>想定される原因</p> <p>＜案＞ ・運動促進策を実施できる医師の不足、救命救急センターの未整備 ・交代勤務により不規則な生活を多く、また、夕食後の夜食や間食を食べる者の割合が高いことから、肥満者が多い、喫煙率が高い ・偏った食生活により、塩分摂取量や脂肪摂取量が多い傾向がある。</p>	<p>現状の対応</p> <p>＜案＞ ・対応困難時は、隣接地の駿河田方圏への応援を要する。 ・AEDの使用法の普及・啓発、装置の更なる設置と場所の確保及び設置場所の広報。 ・市や圏域の関係機関・団体と連携し、住民や事業所への生活習慣病予防の対策を推進している。</p>	<p>今後の方策案</p>
<p>I-4 糖尿病</p> <p>富士</p>	<p>データから見た地域課題</p> <p>・危険因子であるメタボリックシンドローム該当者が多い。 ・糖尿病のSMRが県内で2番目に高い。腎不全のSMRが県内で最も高い。</p>	<p>想定される原因</p> <p>＜案＞ ・交代勤務により不規則な生活を多く、また、夕食後の夜食や間食を食べる者の割合が高いことから、肥満者が多い、喫煙率が高い ・偏った食生活により、塩分摂取量や脂肪摂取量が多い傾向がある。 ・患者の生活習慣の改善が進んでいない。</p>	<p>現状の対応</p> <p>＜案＞ ・市や圏域の関係機関・団体と連携し、住民や事業所への生活習慣病予防の対策を推進している。 ・富士市立中央病院がリードし、糖尿病対策における開業医との連携を推進している。県保健所による重症化予防事業を実施している。</p>	<p>今後の方策案</p>
<p>I-5 喘息</p> <p>富士</p>	<p>データから見た地域課題</p> <p>・喘息の人口10万人対死亡率が、県平均を上回っている。 ・喘息のSMRが県内で2番目に高い。</p>	<p>想定される原因</p> <p>＜案＞ ・医療体制が脆弱である。</p>	<p>現状の対応</p> <p>＜案＞ ・救急時に対応できる体制を整備している。</p>	<p>今後の方策案</p>

疾病・事業ごとのデータから見た地域課題と今後の方策案

I-6 肝炎	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・C型肝炎のSMRが県内で最も高い。</p>	<p><案> ・原因は特定できないが、患者の絶対数が多いことに起因する。</p>	<p><案> ・早期発見のための肝炎検査の受診を啓発している。 ・検者匿名性への精密検査受診を勧奨(助成制度の案内)、肝炎治療の医療費助成の実施。</p>	
I-7 精神疾患	<p>・平均在院日数が県平均を上回っており、県内で2番目に長い。 ・自殺のSMRが高い水準にある。</p>	<p><案> ・管内に5つの病院があり、慢性かつ重症な疾患を有する患者を多く受け入れている病院が存在している。 ・自殺の原因は様々であり、複数の要因が複雑に絡み合っている。また、災害や社会的な要因にも大きく左右され、原因の特定が難しい。</p>	<p><案> ・国モデル事業を活用した「長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業」に取り組みしており、長期入院者の地域移行を進めている。 ・平成18年度国士モデル事業を継続し、ゲートキーパー養成や市町における相談体制の強化等が進んでおり、自殺未遂者の再発面を防ぐための体制整備を進めている。</p>	

疾病・事業ごとのデータから見た地域課題と今後の方策案

II-1 救急医療	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・三次救急の受入体制が整備されていない。特定集中治療室のある病院は、1病院あるが、駿東田方及び静岡圏域への患者流出が見られる。</p>	<p><案> ・救命救急センターの設置に向けた動きがない。 ・特定集中治療室管理料の算定のみを指標としていること。</p>	<p><案> ・可能な範囲で三次救急に相当するものも対応している。 ・ICUではないが、重症患者を相当数受入れている。</p>	今後の方策案
II-2 災害時の医療	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・耐震性が確保されていない救急病院がある。</p>	<p><案> ・耐震性の確保のための費用が用意できない。</p>	<p><案> ・入院患者の安全のために指導は行っているが、強制力はない</p>	今後の方策案
II-3 へき地の医療	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・振興山村指定地域に旧芝川町(抽野村)が指定されているが、へき地医療拠点病院、へき地診療所がない。</p>	<p><案> ・富士宮市のごく限定された地域であり特別な対応の必要性の認識がない。</p>	<p><案> ・一般診療所は隣接地区にあり対応が可能である。 ・旧芝川町に消防署が設置されており、救急搬送も円滑に行われている。</p>	今後の方策案
II-4 周産期医療	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・高次周産期医療体制が脆弱である。 ・出生当たりの産科・産婦人科医師数が、県平均を下回っている。</p>	<p><案> ・人的、設備的に整備に難がある。</p>	<p><案> ・2カ所の2次周産期医療機関がハイリスクのファーストタッチを行い、総合周産期との連携で対応している。</p>	今後の方策案
II-5 小児医療(小児救急医療を含む)	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・小児人口当たりの小児科医師数が、県平均を下回っている。</p>	<p><案> ・地域的、科目別医師の偏在。</p>	<p><案> ・1次救急においては、救急医療センターでは県外等の大学からの派遣又は内科医が対応している。</p>	今後の方策案
III 在宅医療	データから見た地域課題	想定される原因	現状の対応	今後の方策案
富士	<p>・訪問診療を実施する診療所の割合が低い ・自宅で死亡した者の割合が高い。</p>	<p><案> ・圏域における医師の絶対数の不足がある。 ・在宅医療体制の整備の遅れ、住民への周知不足などがある。</p>	<p><案> ・管内市において、訪問診療を含む地域包括ケアシステム推進のための組織を立ち上げている。 ・富士市医師会では未実施診療所を訪問し、支援策を検討している。 ・富士市では死生観を考慮するための啓発事業を行っている。</p>	今後の方策案